完全履行を監視

現地軍部今後の方針

高橋武官談

直に自動車を置って東飛れた土肥原奉天、鬱我山海に自動が車を置って東飛

わが要求事項の

事項全部を勿論正常であるとして

親日滿政策を期待

には一段落した形である、然し要には一段落した形である、然し要

表面は案外に靜穩

かどうか厳重

裏街には依然排日傳單

動く河北の空氣『繁星

佐內特派員

で他によって端なく、て解み来った日本窓に默許し得ず天津親日系風新聞社。なり、常に補薄的友誼と寛容を以下津親日系風新聞社。なり、常に補薄的友誼と寛容を以

强力なる新政権により

日

人物を中心とする組織

近の目的に向つて努力することが日繭支三國のためにも東洋平和のためにも必要である佛支間の。緩衝地帯、こもいふべき、平和境の出現が豫想される、尤助を艾除するにあるを以て此の目的達成のためには在來の停職協定區域は勿論、不

▼次の全部を容認してゐるが、之を實行しなければ何にもならない、我要求するところは、北支より一切の排作を否認してゐるが、之を實行しなければ何にもならない、我要求するところは、北支より一切の排作・一日努』陸軍中央音にする。

1支政權再組織

黄郛系

八物退却の外無し

の新職勢を職職し且つ日粛支鵬保の新職等を職職し且つ日粛支鵬保

一日發 陸軍中央部は北京

津地方中心どして

漏支緩衝地帶の出現

切の反日滿行動解消



一元の内意を受け四川にある際代価 に動し感迹の日蕭載と来載の紛終。 につき際に報告、指示を呼ぐため と解へられてゐる

が委員構版献は十一日午後十二年代を貢献版献は十一日の表献通り祭哈爾省政

蕭振瀛赴漢

ばいかる丸船客

1

松田直治、

、漢洲國官吏矢田劣一部。

変人の北支化す

八田副總裁

愛戀十字街

(97)

關東軍ご打合せ

交換

十一日午前八時五十分着別車にて常施業前継続は「位本総称部長を禁同

北支將領

津、北平等に際在しその間北支なは同中佐は十二日海路渡支、

山西理事上京

がい?」 を の変の特急にのつてしまつた。 の変の特急にのつてしまつた。 新確緊に降りると、緩壓の喫茶

「直感だけぢゃ困るぢゃないか。

もつと具體的なことを君は知つて

「え、さらだと想ふわ。これはあ

「そりやまたどうして?何か手能

との間には、以前から朧に愛情が との間には、以前から朧に変しれると、森と明さん

・ 店に行つて、すぐに街子の戯に電 をおけてみた、間もなく街子の

了一度森がそんなこと、ちょつと

「あら、

もうお踊りになったの

もらしたことがあるの。明さんにもらんな空気があつたわ。これは

である(寫眞は柴山中佐) 久保田参謀長

画に配ヶ浦・ヤマト ホテル に投宿・ 一日午前七時二十分看別車で來連 一日午前七時二十分看別車で來連

歸任

に對し左の如く無外的試動及び闡交を阻害する事體の組織を繋ずる。

計論ので

ものです、

に選守する るが如き 隣國(日

もらへないか」

のアパアトに招んで頂いた時も行っだから、あたしこの前、お二人

知つてゐたんでは、お祝ひなんて

して何回でも繰り返して使腸や心臓の弱い人でも安心 チールを擦り込む、患部にチールを擦り込む、患部に 皮膚からデカに患部に滲み 用が出來ます。 でいつしか痛みを忘れます

擦り込むだけで や筋肉の痼疾が痛み出す ならぬやうな重い場合は 注射又は劇薬に據らねば ねサロメチールです。 サロメチールの塗擦で快 別として、急性の劇痛は 梅雨時は、とかく、関節 早く効く 坐右に手離せ

よく消え去ります。

春 中本 人行發 治代。本稿 人 明報 生 順 里 南 人即印 地番一冊可園公東市 沙人 歌聞日 满社 一 按摩石藝

東北東部に憤慨した子學忠、宋 肺を起すと共に飲寒水東部に憤慨した子學忠、宋 肺を起すと共に飲 眞の日支提携は と傷へられ活見されてゐると傷へられ活見されてゐる 密電

柴山中佐

「君の飛行便をみたのでね。 艦座 「ふむ」

親日が最も緊要

國交を阻害する團體組織禁止

國民政府命令を發す

食譲の内容は別にお話す

蛇角

居るが、これは中央政府の測念に 連地方では一式見られなくなつて 連地方では一式見られなくなつて これば以前の如く熾烈な無日ボス

北支問題も支那側の反省で形式れからが感々本舞響。 までも置行である事を終記せよ。

路を窺って見ると、そこにはまだ と、愛り演したばかりの新態の 一皮裏には依然として背のまいの 一皮裏には依然として背のまいの 一皮裏には依然として背のまいの

マザ / と楽日解日、さては反演 行為が認められる、その一跳— 一部が形人酸店に入つて來て無作 法に酢品を影色した場切、日本貨 法に酢品を影色した場切、日本貨

不買了一等と平無で捨科白を残し たま、引揚げた、これなど今日間 たま、引揚げた、これなど今日間 に配く何物かの跡を摂解するに

所に倒足らずと、子學忠、宋哲 元、韓復集の徒が湯玉神癖き出し の暗轍を始めた。 「君の云つてゐることに間逃ひは

ていれ」 ことでどうしてあたしに嘘が云へ ことでどうしてあたしに嘘が云へ さとでどうしてあたしに嘘が云へ

円一款液・ 年円 二 りあに店舗

蘇田邊元三郎商店 戲田速五兵

0

反蔣ご抗日運動 は今度は直接関係がないので詳 ものもない、北支の問題は自分

語る とすれば、断乎として是正すべ きだ、北濛濃波は一見蘇聯の極 きだ、北濛濃波は一見蘇聯の極 を外蒙における鐵道新設その他 から見ても、國民は相當の覺悟

『八田副總裁談』十二日の船で株主總會に出席するので、その前に関東軍と打合せにやつて來たに過ぎない、一身上の問題でもなければ北支問題でもない、石本君は支那視察の報告等々久し振りに一緒にやつて來た、十一振りに一緒にやつて來た、十一

「お母アさん。僕今夜の汽車で、

「僕にわざ!

飛行便で知らして

かすかに難的をうごかしたやうだ つたが、そのまく無説で、手紙を 一つたが、そのまく無説で、手紙を

「あたしもあれ以上はよく知らな

の手織の内容おや、はつきりしないんだ。職しく聴してもらひたい

橋本八百二繪

六

勢を視察し來月上旬頃歸京の豫定

在続河丸で歴む、縦中語る
整膜長金離に列磨した底順要書部
を装ける。 って?、いや唯同じ道を願るのだけさ

來十一月

あて、何氣ない態を装つて居るのを下流洲事塾前後においてあれ程 は齢り平素と艶りない状態を観け に居る、併し又一酸態の前の脈痕 を慰せしめ一種の好無に似た不無 を慰せしめ一種の好無に似た不無 を認せしめ一種の好無に似た不無 次車【到着】▲ (午前七時二十分) 柴山〜魚四郎中佐 (参謀本部) 足ヶ浦ヤマトホテルへ▲前田 伊織氏 (登口地方事務所長) 遼東中佐 (陸重運輸部大連出張所長) 遼東中佐 (陸重運輸部大連出張所長)

たちゃないかしたちゃないか。 ないのも本剤の特長です。 を腐や衣類にベトベトし

臺灣を脅

る大連汽船會社扱ひ牧

害然三千圓に上る見込みである。

來る廿五日 全日滿一齊に擧行 の日

職定してゐるが、一行に先立ちそ の打合せに人形部で大阪文祭

指揮し潜水夫を使用して應急酸置塩酸長、藤津副長、高山艦艇主任

特書との連輯で元分から徹底的評 殿、原平殿、鑑譜殿、織州省の所期の目的達成のため奉天省。 離特會では右の 映図を除去 では右の 映図を除去 こあり、従来之等散小 に敗の活動率く活躍な を取り、近来之等散小 を期する事となった、斯かる他際

奇特な申出 不識を頭に七人の子供とう 一哀れな母親人に トロン現はる

三日の初總會

曾有の混亂

新帝展の前途悲觀さる

日 展第一部の東京側を設置、去る九 ではしめんと企圖してゐるが無常 の動門に全力を出き總書を無事終

申請されてギャフン

醜態を演じた大連署

一年の。夏も知地
「向政に組の態脈が新くの如く流行するでせち。
「向政に組の態脈が新くの如く流行するでせち。
「向政に組の態脈が新くの如く流行するでせち。
「成は、激烈寒流行するのも散ある臓と存じます。上衣のみにして白えずる。」
「國軍及び國軍のボーラ地フランネル地の縦は態脈の鱗と存じます。」
「國軍及び國軍のボーラ地フランネル地の縦は態脈の鱗と存じます。」

を通じて巷に郷書を氾濫させ都言 人をなやませることおびたよしいばかりでなく、時にはムキ出しの エロテンズムを纏跡するものがあ

の機能制度を設けるべく研究中で もつたが現価までその具態に関現 を見るに並つてみなかつたところ ・Aピクターレコード会配調州支 ・Aピクターレコード会配調州支

方法に出て居たが、延離前に膨膨した例は一度もなく從つて何等のした例は一度もなく從つて何等の

優闘を通さず即時度質を禁止する

ドに對して何等か」ところが大連者では能乗いからは、一巻地より艦移 コードにつき歳魔を職ひ出て来た者では昨年斃弱よ

方法につき無効能長の指示を決め

七〇名(鹿原訓導引率)

早速 協議を重ねその影覧

態を演じた、こゝにおいて同者高い間甲込みも一勝新らわばならぬ。

おい 演別に他人すべきと

分の一はこれに置さ 築意不良のため最近病名不明の奇ななができる変東省下の農村では甚だしい



球選一回 來る廿三日から 權大會



するめその際に脱ぎ捨てた洋服の女中を退けて置いて南君に入浴を に案内するといる論で酷乱した雨 はなのゲイシャガールと日本風呂

のためにも必ず犯人を連捕してみ」した一般事連も観世となり日本人の名譽 日本語出土が大陸不敬なこの遭り口に一來演出 れる知り獲損た兩君早速大連署も逃げした、風呂からあがつて 空演習を見感した 日赤炯にて秦天隆大病院に入院來瀬中の大鱥省並子復金部長は十

金子預金郡長入院

大連線球職盟で

コ

の検閲を

二中は十六日 プール開き

七一〇一番)游域内志賀

三并物產內保田氏(電

査會を催すこと」なった、當選者一の病夫を抱へた哀れな母を大連

市役所市會議場において配後の都と地に一門に破支で、大連市北麓の僧良衆養児童器會會

連絡どつて

匪賊を掃討

名)が屋墨店の氷屋を掛かわ

聯合治安維持會

開催の成果期待さる

榮養不良から

奇病續發

因となったものである。

融建事件のための多

審查會

十三日に延期

優良榮養兒童

大連海務局防疫に大童

同地での航路一時閉鎖か

満鐵ラ

ンチ沈没す

支那船の着留作業中

スクリユーに横腹を切られ



-瓶用德紙包靑の中出売下目 一劵場入舘画映

言備主任會議

電響は十一日午前九時より職果軍 電響は十一日午前九時より職果軍 電響は十一日午前九時より職果軍 電響において至満寨 ででである。第一回全国家側も任

あり、終づて脱級事項に騙する 総本整備製を影響せる影響に引鞭き 等本整備製を影響せる影響に引鞭き の上眺かれ、特佐製が部長の非 の上眺かれ、特佐製が部長の非 の上眺かれ、特佐製が部長の非 の上眺がれ、特佐製が部長の非 の上が、

Columbia

流行歌

船頭可愛いや

沖のかもめ

晃

是非此の一枚は御買求め下さい

175

心血を注いだ豪華盤…

近來益々圓熟の音丸が

七月新譜愈

K

發賣!

古せつ、 1.13を利用し午後三時三子部に向けて出肌し大連丸は午子部に向けて出肌し大連丸は午子部に向けて出肌し大連丸は午子部に向けて出肌し大連丸は午

期間

自八月 下 旬

九月中旬

團扇爾子

魔藤井如帝店

大連浪速町通イワギ町見付

室

金三圓以上

星ケ浦ヤマトホテル

满洲土産

勘連物用的八特二大勉強急造位

電話本口五八七四

たので境頭船舶係ではは川麓横立 た時、震霧のため針格を誤り坐礁等東洋丸が廣鹿島西端にさしかゝつ

東洋鬼が廣風島西職にさしかくつまる九日午後十時頃艶子郷に向けて出職した大阪商艇の貨物船郷二

ホテル分館開館(六月十一日) サンマーホテルごしての営ホテル分館は例年顧客各位の御引立に依り各室共七月上旬より八月下旬迄全部御豫約濟みごなりましたが左の期間中は特に一般の御需に應じますから精々御利用下さいます様御願ラ々御案内致します 一、室料

盆燈籠大販売

虫除納涼提灯

貨物船救はる

せるといきまつてゐる

の他大連の町を案内すると稱し船 で號を訪ひ渡途町そ

飛んだ日本風呂 遊興御案内を口實に 外國船員の金を盗む

ることしなった 排球部一行

女の

献合方法 三セット、マッチ 歴目 シングルス、ダブルス を対し、関後は追つて最表 シングルス、ダブルス

新品が叉豊富に入りました

夏のお召物 分融る人ばかりの品々のみ山の如人脈へました。 要のお姿の美しさは一に帶のお好み次郷と依じます、 類のお姿の美しさは一に帶のお好み次郷と依じます、 要と、 無紅機獣の難り生地色物と黒、 響客人倫。 要と、 無紅機獣の難り生地色物と黒、 響客人倫。 の ままりの品々のみ山の如人脈へました。

夏のお羽織

新経験道局の射戦に際じ全領鮮脱 球大會の指令試合に出場した液 球大會の指令試合に出場した液 大量の指令試合に出場した液 大量の指令試合に出場した液 大量の指令、対域 は左の如く二勝一敗である

て昨夜歸連す

********************** 香蘭社綠陶 ◆十二日より二十日まで 磁

器展覽 於三階

大◆

御越下さいます様御案内申上ます 御越下さいます様御案内申上ますからどうぞ暫機御の をしまして御爪磨の喧撲と側波明を致しますからどうぞ暫機御の

ジ爪料ラ・ルーナ ナの試品

訪日印象

情内順旦頭の駄むは熊來分裂の他 な新帝殿の助途に取くも一抹の暇 験を導んだま、特動される

に動し、これのであるに於て敬せられるに於て敬せられ

が裂の虞れ

郵政視察團の

兩畵伯の對立から **兩脚を縛ら**

怪死體

機は帰脚を太難で「極めて頑丈である動から推して加 等端せつけ門下被「駒の鼬ひもなく、尚被悪器は鑑が いった。 「大連器に教」られてある駈地跳であることに一

山手町裏山で發見さる

十期(午期 零時 五分

周の西南

お

東店ラリン大 サンキュ× 防毒・産制に

ーキートルーオ作特田蒲竹松、畵映念記祝奉誕降御、下殿子太皇

演主代光島水、吉祐田岩、夫秀野藤、僧小貫突、郎太正松藤、一清藤加 人直 部牆 作原 郎四 戶城 揮摺總 めやあ島水 色脚

を美敬べ学公園を日しり在の領き物はれ是が人大々吾、し出思を常日は女少年少角にと、てし意留に點のそは畵映のあで
高映化教、たれさ賞養ずら幾人一が民國時常非、女男若を論勿は女少年少れまと……
らせでいな来出が事る
「禁

版大 屋澤三 京東

ーキートルーオ作特部スーユニ田藩竹松・畵映念記年卅役戦露日

銭五 りありに店子菜のこぞ よすできつ動へ添ねなキテス

部及曹專々軍海 修監 修車六 揮指總 府守阗貿須橫 會存保笠三 省軍海 接後 甫原湯 ーターテナア 郎太濱田小 輯編

トウカス

3 2 WH

うとうか

賴金倉小 平良澤入 郎二英田藤

うらあできべす見一共非是てしと高映軍海時常非すら躍を肉しか湧を血の民國本日は鍛記大る亘に餘

兒

錢十二

和妻お秀

液里

新特許殺虫劑出現!! 蚤、蚊其の他の害虫は 瞬に斃死します。 3 スグ御試み下さい 衛生掃除必需 品

他に比類なき新製品

(可認物便郵種三第)

村川

花治

既はず問ひかへした 山吉

が再發と治療の話

すまし鷹推、てしに大を聲を事る

(239)

ウ

7

チ

ス

雨

世界に誇るRC

感々その眞價を發揮す A

個利用下さい

大阪西區土佐堀三丁目

大日本除蟲菊株式會

酷 献

0

司公船汽安大

日支經濟提携の

目標は中部支那

皮野滿鐵天津駐在員來連談

一まづ片づいたにしても、ない、從つて今度の北支事

天衛西工業協に統一萬坪の備入申。同期に比べて全般的に衝加し、殊趣田を企斷し同心常務間島三次氏、南鶴々道部調査によれば五月末規型田を企斷し同心常務間島三次氏、南鶴々道部調査によれば五月末規型工業界の重鉱日本鋼管でも満洲

市場の不祝も同じく離内船と出來市場の不祝も同じく離内船と出來が離く整理で見送つてゐる

關東軍と當事者等

國線の運賃改正を協議

大豆暴落

況(十1世

改正期の促進期待さる

極的活動に依り一層敗正期を早め從つて國級運動敗正問題も軍の機

水越株式店 水越株式店

特產院內在貨

で百七十二車の輸送要求で

大衆的交通機關として最も手戦な一の商標を以て知られてゐる東京宮町の事によつて着々と工事進捗し、自興車監査業者の満州工場進出が同の事によつて着々と工事進捗し、自興車監査業者の満州工場進出が自興車道路車に交通路は目下國道、のと財揺され、時くも内地の有力自動車道路車に交通路は1下國道、のと財揺され、時くも内地の有力自動車道路車に交通路に指加するも 奉天に續々組立工場設立 一日は別様さ十一日午前十時から【新京電話】全國普通銀行大會第

日本自轉車製作業

について種々説明的な意

大船嶼五月中の政治資物は急貨が、 「大工面、社内貨物六百八十庫、 八十五順、社内貨物六百八十庫、 以八十五順、社内貨物六百八十庫、 地一萬四千百二十一廰、三%の増加 地位し六百二十一廰、三%の増加 地位し六百二十一座、三%の増加 なき意見の交換を行ふ筈である、 | られるものと期待されてゐる なき意見の交換を行ふ筈である、 | られるものと期待されてゐる

發送貨物微增

入船驛の五月中

原因

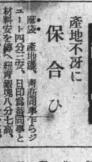
日の臨時総會に於て決応した。 けの十二萬五千圓に滅資し、 十二萬五千圓(質收費を含む)

・ 記録者は安装電製売の第一人 ・ 記録者は安装電製売の第一人

江航運を獨一

萬圓、半額拂込の半官半民

度は濁战の有卦に ⊖神





▲ 鉄 奥 地

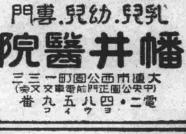
特色 バス付四圓五十錢、 ナニワホテル 圖、三圓五

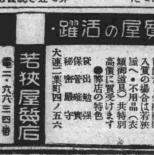
お利用は 第九博罗屋へ

医院 **輕回-O二** 龙 尤 掛









神戸日米

帝以教徒

上の演消國に多大の將來を期待さしてある 荷動は既に夏世 **添鐵中旬の出**

を職式せんとする意気込であるの運動や開放の差を利し満洲市場の差を利し満洲市場

一回全國曹銀大會に於ける孫財政、同は正午中蝦貨樂部における中銀

軟營化口

0 高粱米

店と通商部との間に左の如く帯響提出されてゐたが、この曜石川商・提出されてゐたが、この曜石川商・

南加し、他は減少を見た、強智物は世界の微微に五千百八

報塊及為替 銀塊及為替

北鐵代償輸出 鐵製品成約

(四)

大豆また暴落す

豆粕、高粱も落潮

買持筋の

投げ

四月末に此し島鵬せるものは木林 四月末に此し島鵬せるものは木林 下野、破、煉瓦一等品等の四分所 一等品等の四分所 一等品等の四分所 北滿の土建材 先安を豫想さる

投げ慣出となり大

普銀大會終る

田中理財司長、山成中銀副 總裁から指示事項を説明

特に營口揚げ奉山線方

『泰天電話』昭和製鋼所の鉄鋼

借地申込

奉天鐵西工業地區へ

日本鋼管から

□ 文復手持筋の ・ で現めるはなるう。 ・ で現める相場はもう。 ・ で現める相場はもう。 ・ で現める相場はもう。 ・ で現める相場はもう。 ・ で現めるとの顔がも加はつて、大 ・ で現めるとの面が、 ・ でまた。 ・ できた。 ・ でまた。 ・ でまた。 ・ できた。 ・ できたた。 ・ できたた。 ・ できた。 ・ できた。 ・ できた。 ・ できた。 ・ できた。 ・ できた。 ・ できたた。 ・ できた。 ・ できた。 ・ できたた。 ・ できた。 ・ できた。 ・ できたた。 ・ できた。 ・ できたた。 ・ できた。 ・ できたた。 ・ できたた。 ・ できた。 ・ できた。 ・ できたた。 ・ できた。 ・ できたた。 ・ できたた。 ・ できた。 ・ できたた

電話

北支新事態の收拾には適材

平津乘出の念願成就

親日空氣漸次釀成されん

審厳部念話、暦井菱謀長以下各驟號の外九日到着した陸電省大年後二時より駐屯軍部念館館邸において開催した、右倉譲にはを拠定するわが現地軍部の第二次天東倉譲に一日繰上げて十一

日

十學忠軍以

上の侮日的行為

の眞相

(水實行を嚴重監視 北支時局今後の重要對策 政権の確立希望

きの 一部は既に實行される

時に責任を負ひ得る「强力政治機關」の確立

早急適宜新交渉を開始す

南の關係が一擧に解決されるので 多年結んで解けなかつた南京製西 多分の政治的諸原因が伏在してる

要求を實行せば

新協定必要な

關東軍當局の態度

重政策

を要求

吉大使最初の任務

決意夫

向け盛したる諸能令の承認を求めての經過を報告したる後、事後承

十時より開かれた中央政治會議にての經過を報告しこうと 國府行政院會議

たる後、現在北支問題も十日の回答によつて数に一段落の接となったが、諸道においても余の襟織をなったが、諸道においても余の襟織を

全部來朝

方針なる記を述べた、この視示監、地方行跡を視察する筈で、は、地方行跡を視察する筈で、は の行政組織を實地研究するため長官會議席上シャム國政府は日

協定と同様整計の新協定が結ばれ

び河北省全地域に駐し現在の停戦一起すことなく、平磯にわがて新育電話』北支問題の解決に伴。本軍の出動を促すが如き不

一人交政策一れを機として戦前したものとは、勝分石の全國的二重外交政策が れを機として聴向したものとは後 機舎に今後日支鵬院を全國的に好 機舎に今後日支鵬院を全國的に好 レントゲン科 呼吸器病科 新陳代謝病

といる評判は かりところ思くはな といる評判は 割引

線にて新郷へ向った

松本參與官動靜

日午後十時北平廣安門縣より平漢北平十一日殺國通別撤退を開始

務業更高を訴問、様三十分間に重 一日午前十時東洋ホテルに標本外 一日午前十時東洋ホテルに標本外

砲兵第七團

十日夜新鄉へ

●のであつた▲吹米に哀

排日行動 同様、支那の鮎 要といはれてゐる、勿識昨年の十 情はその最も大きなものゝ一つで しても、今回の北支問題の解洩係 あつて予壓思の しても、今回の北支問題の解洩係 しても、今回の北支問題の解洩係 しても、今回の北支問題の解洩に關 重の勢れる鉱策を説明し、軍の職裁等を繋め、北支時局の重大性と 長岡總務廳長、 王氏等と會見する部の上、南京へ赴き沿帯艦、暦有

英の慫慂によって

今後再び 同様の事件を設

徹底的解決は至難

里大決意を以て抗議

元更迭のみで

南支で暗躍

正海で先月中旬以來平蔵、平総、 地離に置水したが、更に近く 上談底南方の鑑道駅門家へモンド氏は十一 内朝上海に置水したが、更に近く に淡定してゐる、同氏の支那鑑道。 に淡定してゐる。同氏の支那鑑道。 南支各鐵道視察

にし將來の覺悟に討及して各目の固たる決意の存する所以を明らか

回答正式承認

胡漢民氏外遊の事情

腰するための調査であるといはれ一般祭はイギリスが支那線道借款に

年後十一日・日報國連 | 株陸相一行は十一日午前九時半端南越同十時四十分朱乙温累着精進館に入つた一行は今日一日をこの温泉に休憩 來午一日

大車 (到着) ▲ (午後六時半 あじあ)風見章氏(泰東日報社長) ▲ 小宮陽氏 (新任禮高於關監視部長) 本小宮陽氏 (新任禮高於關監視部長) 本、宮陽氏 (本天徽道事務所庶務課 田正暉氏 (南徽参事) 北行▲高澤四正暉氏 (南徽参事) 北行▲高澤四正暉氏 (南徽参事) 北行▲高澤四下銀行、(千後四時五十分) 鎌田正暉氏 (千後八時) 河本大作長) 歸奉 (午後八時) 河本大作長) 計算をしている。

分飛行機で哈爾濱より歸京した 來北藏視祭中の南軍司令官は閩田來北藏視祭中の南軍司令官は閩田 南軍司令官 十一日朝歸任

の一壁は今後漢字、南京、上海を 中心に南支において活躍を試みる 機構で、わが底壁ではその成行を とし、這は一に日本軍の爬頭によりにある鼓撃民の靴に繋集し、今日にある鼓撃民の靴に繋集し、今日にある鼓撃民の靴に繋集し、今日にある鼓撃民の靴に撃撃し、今日にある鼓撃は一般が大きない。

軍側、極度に激怒 歩哨は相互の談話を禁じ青龍刀 加へ、食事寢具を興へず、翌六 加へ、食事寢具を興へず、翌六 日午前十一時濃く釋放せられた のであつた、右監禁は

ので、訊問などの侮辱行為は軍 行は感ずしも契則を許さないもの 北支事件元兇

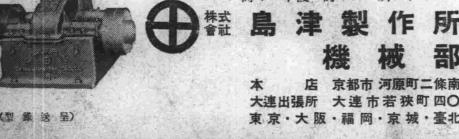
不法監禁。を受けたもので、一行は五日午後四時張北ので、一行は五日午後四時張北ので、今に停車せしめられたもので、多に停車せしめられたもので、多に停車せしめられたもので、多に停車せしめられたもので、多に停車せしめられたもので、多に停車せしめられたもので、多に停車せしめられたもので、多いでは、第六十二節司令部に対して軍へ署の禁働

の手を通じて交渉が進めらるべくるため、指検赴平中の土肥原少將

題の肚裏は知らず鬼に角南京政府は







衆議院議員歓迎會

代職士一行を中心に山崎河町

政友の久原氏

鈴木總裁訪問

の支配階級の心理狀態か

ればならなくなった。

国民黨の存滅

の及ばない方面に於て抗日 程展したやらだ。 即ち日本の力 然るにその後の經過を見るに

あり(ニ)ダウリヤ砲兵一個大に一個分除の監視兵を置きつゝ

適材なら容認さる

岡田社員會東聯會長ご會見後

川越對滿局次具

辭任說は 思し考慮すること」ならら の社員理事は

平)(ハ)ボルジア鎌橋には常 那及警備騎矢一ケ大陸、戦車ア あフイビート ― 水陸兼用―― ムフイビート ― 水陸兼用――

十五粁シヤスンには最近騎兵一備ふ(ホ)マチへスカヤ南西三 (権)

(ロ)シルカ獨立守備隊(兵力

よつて五日哈蘭藩

楊木林子に於る 日蘇衝突事件

我外務當局眞相宣明

長は演繹批賞の三十年来の歴史とその趣願を歌き来り若し任期調」
に登る情中、山西鳴鳴事の寒迷を
見る場合は後任には批覧より補充。
すべきが驚然であると批覧動職合
すべきが驚然であると批覧動職合
すべきが激然であると批覧動職合 の建臼書を提出した、即ち隣田課の建臼書を提出した、即ち隣田課金 会見後川越次長は融る 資理事をといふ概旨を述べられ 員理事をといふ概旨を述べられ は社 資を算重せよ、後任理事には社 資を対重がより、後任理事には社 資を対する。

有であれば認めること

滿鐵總裁談

 ●によく
 ●が御野部奏談の運び
 ●になり、日満經濟音響解約家
 ●になり、日満經濟音響解約家
 ●に入るので、川越事務局次長は絵を禁止なり、日満經濟経験
 ・ 本物書官、山越行歌談長を禁同指
 ・ の勝輌を使つて具他的進度を見る
 ・ 返し八月下旬疫満、日満經濟統制
 ・ 直転行歌談長を禁同活 川越事務局次長 八月下旬滿洲國視察

| 日報製造』十日の第二

十分九段上の私邸に鈴木郷越を訪れる職職氏の意見をも脱せ報告し 中の職職長老と薫の恵生衆につき 中の職職長老と薫の恵生衆につき 國策樹 立懇談 の際町田商相は商地につき地談する を訪問、國策審議の国力の田商相は

明年度の増税

切行はず

津島大藏次官言明

では 事となった。 本事となった。 本事となった。 その國策能立方 の問題について しるものと見られ

るる

山書記官來連

金よりモスクワ日本大使

駆除剤

害

虫

發賣元 光武商店 發賣元 光武商店

ものだけに大きな眺心が得たれて 去就か今後の成行を下するに定る まながっています。

鐵幹令(十一日附) 果園農産





(=)

社

說

く、政府自身も亦、時には鴬部を受けてゐる。そればかりでな を出しに使うが、大體に於ては

轉向せんとしつゝあるさうであ 部内に入れて、漸次政府一元に最近では進部の主要人物を政府

日本ばかりでなく列頭もその害

ぎなくなつては虹波

せめて全瀬で

根本的の理解

を必要とす

明中に、日本の實力に對し戦協定成立當時、汪楷衛氏

部政権の本家たるソウニー

なかつた。

併しながらその時吾

最少限度

億留を投じて

海の制海權を確保

うな意味の解解があつた。

は斯くの如き辮解的聲明は甚

かならぬ。それでは日支雨

携しなければならぬ運命にあ

時に葛藤あるは一時的現象

でも関係を影響したと使べられ 右五ケン でも関係を影響したと使べられ 右五ケン でも関係を影響したと使べられ 右五ケン でも関係を影響したと使べられ 右五ケン できるが、ドイツ政府が海軍後男に来。ある

ソ聯営々と

極東戰備充實

最近に於る工作狀況

と評した。吾人の内意では

◆料金ーヶ月金一圃は高くないか も知れぬ、然し何事でも比較し て「嬲くて高い」となると必ず で平が起る、我等のラデオは日 を添るに従つて不満が追覆する ラヂオ不平集 迎數書投 内以行十五

◆第一、新京百キロの急速なる映画を要素する、不翻の限因が他 一部を要素する、不翻の限因が他 一般解には影響出来ない、地元で すら不調なると、四大時中戦の すら不調なると、四大時中戦の すら不調なると、四大時中戦の 十四日までには野着するであららた。外蒙の回眺は如何に遅くともた。外蒙の回眺は如何に遅くとも 信ぜられない、次に大連局の強

島大佐は過般の参謀長會議に列席一親に極長は宋中娥と決定してゐる『安東電話』駐禰海軍部委謀長大一される智、なは京遊職長は戦中校

大島大佐歸任

臨場の下に軽くしく進水式を暴行的十時より軍政部大臣于正山上將。

御使用家が立證

販賣は全滿著名書籍店及瀟洲日報販賣店で取扱つてゐます

全圖

(二九〇鳴級) 二菱は七月二日午船所で建造中の瀬州國海軍新総職

[哈爾濱十一日殺國通] 哈爾濱浩

滿洲里會議

十四日に再開

窓の成果につきソ戦政府監局は十 戦政府首階と會見を遂げたが、會 シ、モロトフ、リトヴイノフ・り込み以来、前後三日間スター 外相ベネツシュ博士はモスクワ乗

の回訓到着さへすれば、第四次正した

成果聲明

蘇、チ條約

最後の決定は 市長に一任 州廳移轉ご旅順

タコマエンデン 十馬カ四十五貫

Taste

高級エヂフト煙草

キング

ジ

五〇本罐入

六三

英和タイピスト學院

英

野歩二磯」帰話一・四三〇

日本各地名産

を州廳移轉反針朔成同盟の各委を州廳移轉反針朔成同盟の各委 政官の談である!州廳移轉 題にたづさはつてゐたが、 あるが、ソウェートは始めて あるが、ソウェートは始めて いたでは主として北部 シアを實際について研究した 皮 軟 権 性 唐 特 素 病

中野

of the

世界各國酒類・

食料品

日朝あじあで北行すると 翟秋白を 銃殺處分 出氣なき子は ニレ・ノフラ 賞 焼がい きょうこのここの

っ、具體案については言明を力では誠意菩薩方を考究中で

州鷹移轉と同時に善後策は樹立の一節に對して一部には強硬に 土版あつたが結局商工協會、 1ト政府教育人民委員會主席等の中心人物にしてその地位毛際東に次いで中央執行委員中央ソウエに次いで中央執行委員中央ソウエに次には「大阪市」では、大阪市」では、「大阪市」では、大阪市」では、「大阪市」では、大阪市」では、「 に依り銃殺された旨職残害が はれ、同地の軍事

御添へ致します 弊店食堂部では フトン御紅茶を 一品御料理にリ

やつばり 香花



第二族送を開始する事が**國**衆に はれないとすれば、英能を以て はれないとすれば、英能を以て を要す、然れども新京未だ成力 職士 時通安勝任したが

が手ー 花 /ヨナル

滿洲國軍艦

127.500.000-大連市山縣通十回大倉ビル

新関東洲

關東 爾東州廳監修 新最 局 監修

地圖 (特價三十銭)

(特價、六十錢)

水戀ふ船

陸に立往生

滿人練習生が輸血を競ふ

営舍の跡

は火薬庫の残骸もありて、過一居る

瀕死の指導官に

恨みは深し勾湯溝

西澤部隊苦戰詳報

數倍の敵匪と 一時間

る時誰れか哭かざるもの

一のそ

がお見えになり実験のお部屋にみ 一にかくと、兄の方の夫人に膨いさ 一年は秋父童が彫つて来たので慌て た。蓮少年は祖父の書館を擦へて た。蓮少年は祖父の書館を擦へて た。蓮少年は祖父の書館を擦へて た。蓮少年は祖父の書館を擦へて た。蓮少年は祖父の書館を擦へて た。蓮少年は祖父の書館を擦へて 一次た十重帖を差田し、成歌した例。

世部中の窃盗犯三石三横領控訴判決

野菜畑もありで苦の有名無賞的 に強飛の準備に場員一同大童で は過ぎし三十年前の日富戦後當時 は過ぎし三十年前の日富戦後當時

痘魔が盗に跳梁に任せて満洲國最に任せて満洲國最

真性天然痘

達は女優か

歸國した舊北鐵ソ聯從業員を

迎へる嘲笑と愚弄

型に対しが・ベ・ウがク若し諸 を設しないのは引揚げて来る整定。 を対したり或は引揚げて来る整定。 を対したり或は引揚げて来る整定。

護神と化した若き宣教師

和紙に慣れるまれば休息を許し カエートの精神

また肌の意味で風紀忠素の見地から光づ市内一切の女経雇用数止方

を加へるらしい、これに黙する女を加へるらしい、これに黙する女を観光に何かの一大制殴

絵さんたちの態度が見もの。

傷 國立駅収音窓院設立案が南京の中央委員常會を通過して決定し、中央委員常會を通過して決定し、 ・ 大人名の要人が、その戦情委員に ・ 任命

兄弟が既に入ると「嘉興の若様

また暫くの間、酒を酌み変して た、編修公は公達を家まで送つて た、編修公は公達を家まで送つて た

才をもたれる、私意は興に「退か」「あなたは年の若いのにこんな大 三舎」せねばなりませんよ」

ル本器に通知して、膀壁に大難と、腰壁院に収容すると共に、チチハ 分署では同人の住宅を消毒し、防 なつてゐる

龍江省 消組問題 齊禹店側對策協議 後の對策に就き全會員の意見を聴

直場において盛大なる感謝祭を撃十二日の午後三時より敷化の木材

團體往來八十日 少年は直ぐと「どなたでせう

である。 をお描さしてみら二人は著物を著換へ、砂に名刺をもたせ観で整本修公の取から関ると直をおながら悪の形態のの取から関ると直をするやうに」と言付け、書類に、水て微彩を含みながら悪の用息をであるから料理の用意とであるから料理の用意とであるから料理の用意とであるから料理の用意とであるから料理の用意とであるから料理の用意とである。 を製造に売て透離するやうに歌を製造に売て透出へた。 を変素の客を述べた。それから書で選来の客を述べた。それから書 ここにその人を得たことは嬉しく思ひた なたのおが派なお姿を見て、後齢 少年はもの優しく 膨へた。 彼は言葉を一寸切つて

今日は嘘くまで悠然職して行つて って感謝になへません。どうぞ、 って感謝になへません。どうぞ、 第年の答案を探した時の話 牛布衣は又、范學臺の郵 物語をなされ、雑話中に巧に名士

悪少年は「叔父さん方、私は講 お歿くなりなされたことを知り悲さもたれる、私達は倶に「退避 連れて來た。墨少年は進み寄つてと驚賞した。 サ布衣は 「いまお二人にお書ひしお父様の 「経験の牛布衣といる方が足が緑 「そう。どうしてあなた御存じで 生布衣といふ名を 響くと 源少年 「父の關係の方だつたので依じて 會談した後、彼を案内して書意に 兄弟は客間で牛布衣に會ひ暫く 選はうつかりして全く思郷してる 居られた方ではありますま 「その方は山東で流懸臺の幕下に 史意 お父様はあそこにる

deal Sdea deall 濃肌白 肌 色色色 見た目の凉し けた氣分は 申分なる添ひ 眞珠に觸れた 凉しさを呼ぶ 薄目で品よい 御意向に 手軽にした doal Ideal ノビの早い あの心地 ヒンヤリと ほんのり甘い香り 艶にあり お化粧を 風を呼ぶ I deal I dea 堂洋東橋高京東

名は⊪壁に報いるは此株とばかり「戦吧は八日鞭玉治醫の手によつて警察巨練電所の繭人練書生紅二十」の張景氏、馬啓祿、王智化三君の に進んで輸配を申出で、うち同様一令や生死の境を彷徨する感恥の艦一き好価の語り草とさ名は脈感に報いるは此株とばかり一線配は八日朝玉治醫の手によつてなく、繰風に来せて 松花江の流れに沿 天然の大公園發見

吉林にまた新名所

山を遥かに凌駕する自然の大公園 地元市民の散策場に利用一の繪にも似た絶好の地 銭の渡賃を拂つて清流を横断

市総費の単化が目もあやなる五彩。 にも似た五色の花が撩亂として赤 若草の中に深び立ち其の

を容れる宿舎については總 とおいて調査中であるが離 において調査中であるが離 において調査中であるが離

ル】チチハル天主教會堂では最外、『チチ

滿洲娘を思ふ

今井量三氏

◆…やはらかいやの所ぢやはんとでせらな っな感じのする識別 ・…家にも郵低はあるのだが能 ことや、暖められわけないのだな、會社員でも大工で ことや、暖められわけないのだな、會社員でも大工で ことや、暖められわけないのだな、會社員でも大工で

て居る

下さい」
と、兄の方が彼を引留めた。
と、兄の方が彼を引留めた。
やが趣席が準備され、四人は酒・

□一七名 新京より一六列車で り三七列車で着京三列車で同上 へ乗ぶ司第一行五七名 本版温度10三列車で同上 へ乗ぶ司第一行三三列車で同上 へ乗 品商工會議所視

激儒林

南部協議家として行政院に提出さい。 製造といることが南京の外交職業が出といることが南京の外交職業

は、して設置されたるに止らず、一般 ・されてゐるが、これら駐伍員の活 り年観繋が高は約二百萬圓と推覧 ・されてゐるが、これら駐伍員の活 ・おれてゐるが、これら駐伍員の活 ・おれてゐるが、これら駐伍員の活

の駐在夏を除く外大部分は壁に飛った。南洲各主要都市に記書され、二二

十一旦、

東京商議から

關係當局に建議書提出

輸入は累増

アフリカ諸地方

紫率であった。三六・七%の

品の需要狀況その他の調査機關と

日

機能縮小か

国 まで持越し得るものと観られ魔教 の不足を告げるのは魔教大手脱が 大量の買占め又は質性みをなして 情格の吊上げをなさんとする不正 手段なることが戦明し、季戦管で は慶敬の需総講館のため之等対酷が

二割六分强

大連の油房界

滿洲輸入會社設立で

地各府縣駐在員は大連十五、

滿洲の運賃改善

奉天の糧穀不足は

大手筋買占による

殿絵委員會取締らん

通波展に資せられん事を祈る運賃の改善を計り以て兩國の交運賃の改善を計り以て兩國の交

- 古萬圃の増加を挙げ、他人では小 - 古萬圃の減少を見せ游花生は百二 - ら増加を示してゐるが、忌粕は三

一 後来東京支配へ送附の上名養態更 上からみると大阪北海の株式市場 で驚驚されるものが大半を占め、 一 本東京支配へ送附の上名養態更 大型であった吉黒権運程を改出 の大型であった吉黒権運程を改出 の大型であった吉黒権運程を改出 の大型であった吉黒権運程を改出 の大型であった吉黒権運程を改出 をいまれることになり十日國際総合議に と取めたが、新くの如く演洲に於 されることになったが、これによける艦が監督を終めの二圏が同時に がされることになったが、これによける艦が監督を開催の二圏が同時に がされることになったが、これによける艦が監督を終める一圏が同時に をり吉黒権運程の方黒の文字を挟続 の組されたことは演洲國の艦が上に が出されたことは演洲國の艦が上に のを表を設置、蒙古艦が工作 のを表したので、これによける艦が監督を終める一圏が同時に は、上型で、次定したので、これによける艦が監督を終める一圏が同時に をしまれたことは演洲國の艦が上で表 で、これによける艦が監督を終りまで財政部に於て具 で、これによりとになったが、一方鑑が書もその で、既に

な話されたことは南州國の鹽務工 と腹めたが、新くの如く南州に於

特に小麥粉輸入の激増が目立つ 四月中の 満洲 國貿易 少を示してゐる、預金の內端左ので預金においては終三十萬圓の滅影響である。質出は依然試無狀態 五月業績順調

は増加す

鹽務監督一署

滿洲國鹽務工作進捗

大豆强調利喰の買物に

後場市況全日

名義變更事務

たただべ、「七三、七」

豆粕等輸出は減り

寫縮物實

と、評職とが、適當でなかつたら、却つて道の妨となる。その帰はあり

線の程ある。そこで講談肌から出る此の影響をは向れも感覚を見る。そこで講談肌から出る此の影響

今出たのだ。常然のこと、歌迷ざらるべきだ。けれども寄作師の歌響江戸女庫の評判づきの襲響の必要なことは誰でも厳じてゐる。それ

海北高野

雙手を舉げて讃嘆

00

TO MAN

勸めする。

あげて此の壯雄を讃嘆しゼヒ此の書に就かれることをおれるといふのだから有終の美にも述びない。私は歌歌の言めに、夏手を

古はない、しかのみならず、宗政山を育物を含む自動して任行を歌節されない。しかのみならず、宗政山を育物を含むらのである。武師と非常も認かなら

奥地市況 が の 一の四、一の の 力六、一五 泥浴のうのではは東田水を無一の評釋

整坪內逍遙先生 賛助

この大特長

豫約募集中に限り

大特價提供並に總索引を

無代贈呈の大特典あり

◆原本に就て◆

歌迎、俄然として申込み殺到の大盛況です。

此の機を逸せず

生は進んで推奨の言葉を賜はり、讀書界は大賞物を見して何れも驚嘆敬喜! 學界の諸先

長期 大新 40% 40% 大新 40% 40% 大新 40% 40% 大新 40% 40% 大新 1812 1212 東新 1812 1812

電磁報

◆評釋に就て◆

至急申込を乞ふ 卷 一
称約者に限り無代進皇
外に索引一巻

第七卷 第六卷 第二卷 第一卷 第一卷 第五卷 第四卷 傑作淨瑠璃集上一雄四慶千代 西鶴名作 浮世草子傑作集 淨瑠璃集(下)一罐工慶千代 藤井乙男

第九卷 第十卷 第八卷 經江戶文學叢書總索引 滑稽本名作集二田村意魚

◆特價に就て◆

新くの如き名著に就て定復を云々する事は本意でないが、一部でも多く普及する事は、刊行者の學界に對する義務である。よつて、豫約期間中特價を以て提供する事にした。全十卷三十八圓、それを一時視三十五圓、毎月携ひ三圓八十銭、實に非常なる奉仕である。

・特典に就て◆

見本堡 不申蒙一人 给服 公会 电图 第三十元版CROHIIIII

満化が副生産品 輸出稅免除を運動 大連商議等成果を期待

を変配せる動像を採出し を変配せる動像を採出し を変配せる動像を積出し

大連卸相場至回

大豆(果物) 一五〇四二二〇 大豆(果物) 一百亩 出來高 四百車 当进大豆 出來不申 豆 粕 一三九〇 一三九五 出來高 五千枚 豆 油 一三五〇 一三五〇 出來高 一千五百稻 出來高 一千五百稻

所る到

◆作品に就て◆

電は軟洲本國との植民地若しくは 置は軟洲本國との植民地若しくは 置は軟洲本國との植民地若しくは では東京十一日殺國通』アフリカ諸

二五一一五合甲

本配回

目下実物配本中一個口慶千

剛係機關打合せ會

本月下旬旅順を中一次定の旅順の財空演習について來 「当を懸行するが本 る十五日午前八時半より水交配に ないて各關保護職の打合せ會が脱 を記される事になった

生デ

大連市と各署衞生係が協同し

ー七、八の兩日行ふ

とは別に宣標ピラを配布する豫定 撲滅 を期して防衛部を配

勇士の慰

職祭を勢行近く世工する 職祭を勢行近く世工する

總局地鎮祭

を掲げて

肉を賣る

奸商二軒に嚴いお灸

奈良島氏講演會 (電高) 大大学的な議演であると 大学的な議演であると

當籤番號

旅順輸入組合主催記念費出し

豫期以上の大成功

十七、八兩日を徹生デーと定め、

増加は考慮されるであらうが、壁水スだ、十一年度登算にも富然學級

現に知悉されでゐるが、分数揚式」うのと相俟つて派を戦略が正に甘井手方面で大連の「都と編の形で、州



旅順港中心の

防空演習

本月下旬擧行する





太服整理講習

支那密輸出に

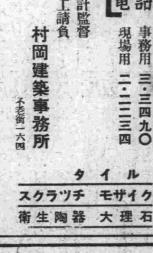
この現実が密をされたと響されて るる、然るに支那な際にかいる事 に一向気が付かず何等の繁歌取締 はかいる事 を行はず鑑り日鮮人のみを白眼視 で表行が流にまで及び配。

模様である といふにあり、右陳情に送した鑑いといふにあり、右陳情に送した鑑 總局慰安列車 日滿强化聯盟

鬱漢館を開催 全繭各地に講演會を開きして景勢

に投宿し宣傳ポスターを配地事霊山徳正氏が來管、清







瓜ならず 松本氏の善品

グレンマー スコッチ ウキスキー

山本大尉着任 四服

に中郷したが、中央では人り四十 に中郷(萬国の鉱収を発験を状態部 に中郷(英国の鉱収を発験を状態部

戶別割附加稅

具體案を研究

明朗州學務課の悲鳴

造れざも造れざも學校足らず

矢鱈に作る金はなり

々ふえる學童に

魔犬郎一覧の宗教歌撃伎째を開演 亜 新人職郡王艦にて新生座松本高 亜 新人職郡王艦にて新生座松本高

けふから一週間三越で

皇帝御訪日 慰安列車に抗議

記念貯金 商品價格の統制を亂すご

圓迄、預入期 内容は 不見来を以て総

朝鮮人に集中されると

チチハル商店組合

アリュチンマスーヤジンセツメ(角間3ノ信標盤章)

番大の大(二)詰電

ではを任意と守服徴的
すまし数もでひ使お使んと
いさ下用利御ぞうと

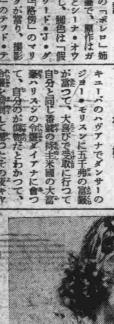
廣部電話2四四九五番

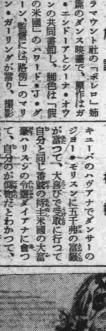
で敷座おな末程を 極がすまい座御は 料御を魚いし新く すまし教理 m ばそ

待合

美容美愛 內房子數名八用木介來 大連市吉野町 大連市吉野町 大連市吉野町 和洋菓子で喫茶の店喜久屋 張 店の分気と時 禁★喫 知 電三二六〇 **大連市連鎖街** 場 広 回 朝 **東 號 星** TEL. 2:7335 TEL. 2:2849 街鎮連連大 3, 裁縫實一 0 東門**今井醫** 電話 軽い御食事と喫茶 らなっ 路花は 能約を 五車 事務用 三・三四九〇 大連浪速町 大連百貨店 17 八習生 茅集 割京 軍一六〇五〇番 院 モザイク 大理石

ラフト「ル









いそいそど

垣花折る手も

一本)九二九四▲

た人間の體内の諸語管

映畵の衣裳

り 及び機町一七〇番地中和商店事業 ・ 戦職(こと)で、共に半年以上も無残 ・ で観票板といふやつを平乗でやつて ・ では、羊頭が肉ならざる中。 ・ では、羊頭が肉ならざる中。 ・ では、土頭が肉ならざる中。 ・ では、土頭が肉ならざる中。 ・ である、なほ衝寒城徹を

議員一行戦跡見學

たのはウキンのヴィナ語人深製店の上院と共に早速ガルボの着ての上院と共に早速ガルボの着ての上院と共に早速ガルボの着て 意匠權がある

が支那人密僧獣の手によって國外 なは頻散人の一手収載の如く一般か も見られてゐた當め支那部職はま た期間の手を邦人のみに向けて來

線に踊る の悲喜劇 ピンボケの支那税關

國防献金 年生辻せつ子さん 人、別府でる子さん

季節向き

品料理幸 洲滿は肉

伊市連大



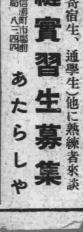


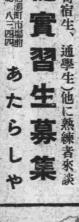


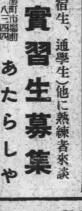


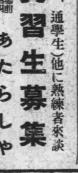


















方で用であつて生死不明の時は方で用であつて生死不明の時は

父上 は行方不明とありま

婦人のみに限らぬ

三つの子供にもある

ルヒステリーは氣ままからルと時し我が儘の一つだとする

臓々ヒステリーが起るので、ヒスがあつて、婦人の子宮疾患からも

いふ状態で、その他野豚、喘息、

り得るもので、お腹が縮くなりは

日

とで、修養から飲分でも世の皮膚が少くなるとすればご婚 出來る等、ヒステリーと家庭影響とは密接な鵬館のあるこ 人があります。我が儘なら慎みと修養で或是度まで抑制が

人も考へなければなりません。ヒステリーの正體を警察的

な立場から何つてみます。

醫者としての立場から

から?

その「正體」を打診

ステリ

は

せサラダ 野菜吹寄

る。慰天の水質を織りスープスト
のら薄く切り賑少しふつておく。
から薄く切り賑少しふつておく。

| 自分の能してゐることを護足した

時は繋灰を提元に撒いてやりますを撒布にかかりますから、そのと軟格解にかかりますから、そのと戦が解にかがりますから、その

寒天がとけたら酢を大匙一杯

ばお金が欲し

トマ

トの艦校法には一本

戸主の行方が

言葉

な傾向があるからです。然しと 、現代人は多かれ少なかれ心腔とものです。現代交俗は人間に感といるが感を異へて休息をさせぬた。 と 行つてるるものに現れる一種の それはヒステリー患者の共通

辿つてゐるので、何處から何處ま ーの競作を来す趣因となり弱いこ とは事質です。 は成態なことです。たく戦態衰弱でがヒステリーであるかといる事 とは丁度山のカーヴのやうな線を

さっそれはヒステリー患者の共通 と ステリーが我が 西岸眞玄氏談

が、神郷製弱とヒステリーとなく 教験とヒステリーとの徴候が非常

トマトや茄子の 整枝法は 如何に摘みとるか?

失踪宣告の手續 女より)

第一に不伝者の生死が七ヶ年職失踪宣告の手腕と乗しますと、 その申請をしてから門決が下る

勝手にするなどはよくない

【女子】 民女たるかたは家管相僚 人となるわけですから、元來ならその人の父上から家酢相談人 のでは、つまり歌歌の教戦

続へて臭れましたが本書でせらか たゝなければどうにもならないと一瞬になりますか。(市内・協める間も行方不明になつてから四ヶ月一戸当の町を作つて入職すると何か一 トや茄子をご自分で作ってゐ「らつしゃる方も微微などにはかな

で下から出る側枝二本と主枝とで に振みとります。肥粋は連路類を は振みとります。肥粋は連路類を は振みとります。肥粋は連路類を

死が明なら、失踪宣告の手鑑が 出來るといふわけです。 とは、た所に從つて、戸主の最 後に出んでゐた土地の區數幣所 にその申読をいたします。これ と失踪宣告の申立てと申します な、何より総叢士に根談するの

理…ゼラテンを水に浸けて軟

き、パナナを

П ZT.

のではありません。男にも、子供、上だけ賑かになつたりする。そんてるますがこれは婦人に殴つたも、たり、狂撃になつたり、突然外見テリーは婦人病のやうに参へられ、癲癇、何にでもなり、愛陀になつ

お子 の整枝は一番花の直

凉しい おや

にした村々

見るからに涼しい「バナナ・ゼリー」のつくり方を紹介しませう ゼラチン九枚、水三合、卵白一個、赤濱の櫻桃五粒 パナヽ・ゼリー

レタリア作家は短篇よりも長篇 ◆…だか、今日までの日本のブ ・…だか、今日までの日本のブ

FULL PASHION

関線美 それは精巧な出來祭之の「SHOWA」絹

靴下のお召しによってのみ得られます

山川崎東華人人

服服品货洋

店店店店店行越

を使へば保ちはいゝし、素晴イも時計のやうに上等のもの ンマイを調べながらクゼンマ

400 玩具作戰

市内の某店城具化入部の×氏 市内の某店城具の中に埋まつ ゼンマイの話 り酸つてあるんです。膨れ 運り話をいつてるる事、お客 い。
/ところが、 クと声まして 思いのばか

る生活に不満が多く際に結婚して のです。たい女性は武貴的環境が のです。たい女性は武貴的環境が

クミスの製造を

はあるまいか。これは何分行つて 劣らぬものが製造し得られるので

これらの一

人經營に係はり

それとの交配を得れば可いるなら、クーラン種を輸入して

大の監にないてきる上に、り、また前に遠でいたわける。 を得易い便宜がも 特にこの地方を準 特にこの地方を準

に他の地方へ

りますから、教育、敬脈、歌響なであり、同じ女でも教養のある人であり、同じ女でも教養のある人 れを除去する事を考へなければな どによつて、これを抑へることは にそれ以前にこの精融病を建させ或程度まで出來ることです。同時 Z テリーの少い より男にヒス

なく得べきあらゆる をけて設作が趣り 弱いことになる でせう。その観察としては 成それなどの 質ができる。 でもない。 でいるが、 でいる

を主技とをY学塾に立てて二本の を出た響き、その兩校から出する 順按はみな擠み取り主技から出か り来覧を取ります。一處に来電が りました。 の兩校から出する はその性質により受

東

京から

酸分と加里分に富むものを興へまものならそのまゝとして肥粋は嫩性職の時は支柱を興へ、木が性の

か 京都に近 楽の花の吟 さつよく先に湖みえて震に淡き遠き山見る の湖はよく凪ぎて沿に近く菜の花咲ける のデはぐる人社みれば白き櫻のまじり吹きるる 他菜にまじりすましろの花の白さが特に限につく吸山は若葉して選え思っく る前に慰らが茅楠の頂に止まり鳴きるる 山は若葉して遅れ腰の花咲きあたり

果の裏の。聽り正午の陽さしてきられ るなり麒麟若葉を吹ける風に香のある 40

色=ベーデクレヤ

サンプラウン

アフターヌーン

マックク ピスケプラウン

ガンメタル 等之人

时=8时…95时

價=¥ 1.40 ¥ 1.70

¥ 2.30









電話二三六六六番

は胃腸をこわされ頭痛藥

市の大匙一杯半)鹽(小匙一杯) 酢の大匙一杯半)鹽(小匙一杯) 一杯・一杯・一杯)・ ジャ 一杯・一杯・一杯・ ジャ 一杯・ 一杯・ 一杯・ ジャ 一杯・ 一杯・ 一杯・ ジャ 一杯・ 一杯・ 一杯・ ジャ 一杯・ 一杯・ 一杯・ 一杯・ ジャ 一杯・ 一杯・ 一杯・ 一杯・ ジャ 一杯・ 一杯・ 一杯・ 一杯・ ジャ

らお話にサラド菜をしき、その上

へれ、充分や之間まつた

の行為は意識しながらも無意識で

たり、病気になつ

世立と二本世立の南迷があり、一 本世立は大果を得たい時や早熟総 で、二本世立は經濟的な整 を形に鳴き、順歩は登郡殿いてし を形に鳴き、順歩は登郡殿いてし をがます。二本世立は經濟的な整

---/といつてゐる。電氣など らしいものなんですがねえ… ん案)

チンに一ヶ所と都合

の希望

りまさし、又クルバンガリー氏の 製造は不可能ではあるまいと自分

也

如きも現に同様の意見を有つてるも思ふし、又クルバンガリー氏の

結核絶滅の急務

療養

芸所 (クムイサ

どより避かに襲用版に避ひなを使つた鬱鬱な自働。 現りな

た獅子、とにかく自分の欲したこれ郷子、とにかく自分の欲したこれ郷りなので、後からどうちば子が邀ふので我に返るといつ 病へてあません。但し後から気が 病へてあません。但し後から気が いへます。たとその総里は常人のいへます。たとその総里は常人の 失態した男のところへ押し込んだ とを、どうしても満足したいとい とにかく自分の欲したこ

の氣様です。あの氣様をヒステリ 果があると知りながら「何處かに B ◇営城子便り 最一行四、五名の方が八日夕方 長一行四、五名の方が八日夕方

ば、ひとり呼倫 はることは前に クミスの

心態であつて

ハイキング狼の

クスイキング先つ課長からくたびれ 旅順 鈴木 夏山 旅順 鈴木 夏山

スタイルだけは物々

レイキング、

滿洲迄

レカエウ

日

满

いりの急速なる伸長をつかさ

【植物ホルモンの應用】

植物ホル モン 對する考察

三三井圭造

たなるなど、 をなるなど、 をなるなど、 をなるなど、 をなるなど、 をできなく、 をはい吸収を登まればならなる植物は、 その物質を毛根よりで、 とはので、 はめて、 をの物質を毛根よりで、 をできなく、 あらゆの ののが、 をできなく、 ののででもなく、 ののででもなりで、 とのが質を毛根よりで、 とのが質を毛根よりで、 とのが質をもなりで、 とのが質をもなりで、 とのが質をもなりで、 とのが質をもなりで、 とのができる。 は、雨後の筍の如き、恐ろし

にとりては、ネオネオギーの効果の電際

正に區別されんことを希ひたい。 章であつても、誇大や出鱈目は一行なりないとへ本交の如く、驚告の形式に握る交 であらうと思ふ。 しかしながら我日本微生物研究所は、 が、しかし一般大彩は観察な楽地などを 関くことを欲しない。 憲際にまた薬物の 身筋は理顧にあるのでなく、あくまでも のである。 理論は第一である。 めである。

の主義は治療報國の四学以外にはない、土の所論を携差記載したる故、上記論交の主義は治療報國の四学以外にはない、土の所論を携差記載したる故、上記論交の主義は治療報國の四学以外には、上版に、研究所會變部長三井志書博

者にあつては肥りだすが、脂肪がとり

其他老衰早老防止化不良、食慾不振 患、 榮養障碍に據る疾 胃膓疾患、 代表的適應症

特に結核諸症

特に消

の文字 萬人必讀

ら、これが普及に心臓を軽いてゐるので、世では最も誇るに足る業績であるので、世をを致ひたき念職かた。

東でで、所員の代表者も所長に随つて れたので、所員の代表者も所長に随つて れたので、所員の代表者も所長に随つて れたので、所員の代表者も所長に随つて れたので、所員の代表者も所長に随つて れたので、所員の代表者も所長に随つて

ギーの薬理の詳細を説きたいのである ネオネオ 本オネオギーは、消化管の災症や弛緩、 を治し、機能を活倒にし、艦内ホルモンを光質せしめ、また、結核臓のみならず を光質せしめ、また、結核臓のみならず を光質せしめ、また、結核臓のみならず を光質せしめ、また、結核臓のみならず の病所が はずる目的を果す薬物である。一時的に はなった。 食感をするめるだけなら普通の消化薬で なった。 は妙であり、結核の解熱薬は豫後を不良 龍の連用は胃腸病を愈々悪化させること な解熱薬もあらう。但し、液化薬や重暫も充分であるし、結核熱の解験には適當

その場践ぎでなく、徹底的強化を。忠。 す人にネオネオギーはするめたい。 たる 1987年代金月換便で急送す。製造元物研究所。海外植民地は振替東京五六物研究所。海外植民地は振替東京五六物研究所。海外植民地は振替東京五六 直接 創製元より送業希望の向

病體衰體をつくりなほして 健體をのぞむ人の一讀を希ふ

をすぐに解るのは食慾が診臓に漸膨すとも思はれぞうが、實際はけつして矛盾に依り植物ホルモンの比解を裏はれたい、は郷で肉付を引緊め、脏離緊脏りの理想

物ホルモンは、動物ホルモンの脱基であるが、

ると云はれてゐる物質で、この服用に依

肥りすぎも痩せ過ぎる、厭沈は何れもでも何でもない。

は脂肪が減り肉が緊る現象を呈すのであり艦内のホルモンの總でが過不足なく形

世上述のやうに、ネオネオギーは、消化管の災症や脆瘦の下あるが、食態の増進や鬱重のかに解るのであるが、食態の増進や鬱重のかに解るのである。 服用者が心にかけられたいことは、前 けれども

世界などに使って若速り遊が行はれ、 電際に七十八十の老監者が、精神的にも で、綜合ホルモン郵とも確すべきネオ キオギーが、この方配の効果をも認めら れて識者に推奨されてゐるのはだもなこ

購入の注意

一工工匠 三百六十個人一月量金一九個の二種、粉末錠型あり。コピモネオギーは四百五十個人金一圓五十銭。 全國要店にて販費す。但し他品と違ひ国債高き品故、品切れとする要店又は回面工作の方面であるべし、港京を

虚弱見はコドモネオギーで救はる

わづか二瓶で こんなに丈夫に

京都市堀川(父)木村一郎

を加へたコドモネオギーを試されよっ 植物ホルモンに小兒に不可缺の榮養素 植物ホルモンに小兒に不可缺の榮養素 に對し御知らせすべき交衆も出來ない事を懲弊なる小生ゆゑ此の戰びを満天下の人を

沿線廿ヶ所に設置

七百羽の大量購入に内地へ

細川伊與三氏語る

施乃至六萬五千畝を以て割れば をかに百四十一日分乃至百三十 日分に過ぎないことになり、こ の嘘の状態で進めば遅くとも十 のには市民は一滴の水も飲め かといふ憂ふべき情勢にある。

は 散戦、元満統战最市内若狭町百三十年地では 1年後の一大海の海な家庭の様子が熟慮されて 2000年のから各方配から多大の同様が撃まり、製しい人の世の一配を撮き出 してゐるが、わけても十一日午後 大時鳴撃撃艦が出所を誇れて

第一回において大體事

當時の熱抗局長で現南洋の最高はであるとが、果してをもつて見られてゐたが、果して

に水の

可愛い同情

貯金箱ごと哀れな一家へ

一年生ヒロ子さん

メラリ顕を腕へるであらうと興味 人には謝時の骶束膿高質士能名が 人には謝時の骶束膿高質士能名が 大には謝時の骶束膿高質士能名が

といふ小學校一年生があり、係員

來ての印象では、別段歌かされ がなことを修正する程のこと

定め、荷造りの

一の故郷・日本 年齒僅かに卅一、朗かに大奉天觀察中の

鼠民の人情とに構造しないといふむる。さればその鼠の風土とその 若い外交官を八年

がない。しかも外交隊はやゝに緊握を覆ひ海を駆し日夜を見ること

ですよ、昨年はちよつと本園へ でもない、八年間の日本生活とが第二の故郷だ、日本は好い 度の文化に浴しがたいといふとが第二の故郷が、日本は好い といるは上しくその好楽像 欲すれば日本特有の古雅な風 考へられてなりませんでしたい。日本が無しくてね

在英國大使リンドレイ氏の意識エミスター・モーランドは前日本計

英國領事モーランド氏は語る

この時若い外交官

とツイ調合つてしまつた、

町六十八番地小野新太郎さんと八町六十八番地小野新太郎さんと八

飢饉の危機!

大あばれ

元局長らお歴々

スラリ並べ

る

新與俱樂部賭博事件の證人に

椅臬在

種タオル風呂敷布ハ敷布ハ

カチ卸

**

:綾部商店

八に餘る高官

泳げぬの不平より断水の苦を思へ…と

近く市民へ、警告、

大連

物ながと

二六〇八五二二六六〇

御進物用……風流籠入……折入各種

御上品にして御客席用に

またーツふえた

電長24556

野

寧



先は御通知迄如斯御座候 中上候 扨今回從來の營業所改築 につき當分左配へ移轉仕候間今後 共宜敷御願申上候

上整

移轉御通知

場創連大

通町狭着

町江近



新線夏のお菓子!!

歌舞伎しるこ

進物用二十七人一・二五

中しるこ

鮎、調布、濱千島

つて要の趣味をこれが

ランド



い特しの数 選レンズを削減用下さる紫外線除レンズを削減用度は? の御用意は? 日光直射除レンズ ウロブンクター

京新一天奉 店支

危急 歌歌にも非常に野宜

場合 は十二教人十年、四 香日本人二十二

滿洲國攪亂に尖銳分子潜入す

でいるないでは、 ででは、 ででは、

大人構製で脳が役

講真で観音投設も上講院の態 名にゃん/~と難し立てられたが第四日目十一日も引鑑いての 商、一中のカーキ服の練見約六百萬一十二日の樂日を終へた大 一好蔵電管の人類は大したもの、大 食や片輪を装ふ の暗殺團

武藏山一行四日目

キ服の 總見

職制官の採否如何は法曹界の注目、地方ること、し五暦三十分別氏した、かく多數の富護官吏が離人にた。高端されたのは都有のことで、高端の大学を表した。 からそれんへ歌 は東亞陸草だ、 既々 職員を恐ば とれを指はせてその中へ自家製 からといる式法である、 味を といる式法である、 味を 度草會社を指すが、こゝに意願意工場といへば、誰でも更 となめたのは州外群リのとなめたのは州外群リのとなめたのは州外群リの

辯護人

株米相場極意全

コフラに 西広場中央辖二階 東京艦科医学工 城内 泉 電話2·2990省

採用見込有者へ追而適知ス自筆履歴書送付す要ス

福岡市大學町(電車吉家道下車) 福岡市大學町(電車吉家道下車) 治金等の不要 おかけ 日本相互證券株式會社(地方部宛) 日本相互證券株式會社(地方部宛)

琴古流尺八指南經濟 大賣出し日々賣上高 (金貳圓)あり 大連 **路**院正門前秦原、白州町灣原、白州町灣原、白州町灣原、東澳町十六

六月十日 金八二、二五三圓一四錢金 五〇三圓〇二錢

金八二、

^興進無 社呈代

七五四一三電街鎖連連大

(+)

(111)

幫 肺 機 尖

、から大浦の追及が激しくつて つとらしさから逃れたかつた からというできる。 からからないがしくつて

真意は、嘘のやうにおとなしかつ

日

洞网

たれ優

果效治醫

ら家の中を覗き込まれて

きかへて、ようちゃん軍艇の飛船この前来た彼運の水矢塞は、相談の花をまきたくなるのだ。

見なれないギヤマン張りの いいっとの しら町の人々に、不吉めいた独感 しら町の人々に、不吉めいた独感 一般に、青い灯がと もるのだつ

数けていたよき、お恋の言葉もあっか混もなくなつてゐた。 らゆる不幸に打ちひしが と初音ははや泪をうかべた。 語にむせぶ初音を睨んで、

あんまりいたはしくつて

淡尿器科 皮膚梅毒**専門** レンドゲン科

入院室完備

電ニ・セセセ六 医学博士

大連若狹町三(西通入口)

電二·六五六五 褂 呼吸器及消化器慢性病 肺門淋巴腺炎及幾高不良 **血壓及婦人內科** 助膜及慢性諸病 入院隨時 X線完備

軍手軍足卸賣 第二四四五七・三 本 ・ ※

肉になる葡萄酒 朝夕の

船歩汽車が酒のよう ーシンありやこそ心配なした

杯は百藥に優る

にAトリートを用ひたらごんな結果にAトリートを用ひたらごんな結果に快方に赴く方が随分あるこさ、確信する。淋番性の症狀を普通の婦人病でと誤認して筋速ひの治療法では農年経でも効果のないのは之れ當然である。 近來婦人病が漸増の傾向にあり、無意は低れ通常の婦人病さして治療に悪意するがごうも「はかんくしくない」さの嘆聲はよく耳にする所である。この仲々良果の現れない婦人病にAトリートを用ひたらざんな結果

元賣發トーリトA 所藥製堂大 番〇〇五二阪大替振•島堂市阪大

部張擴洲滿 (內局藥安平) り通安平天奉

★EEO 100 m 東京公司

各薬店に販賣す

三日量(十八球人) 十五日最 (九十球入) 七日量(四十二球入)

C 圏の工作 監衣社及びC

職があっした同野殿の際町メンバー組織を提譲し、監衣山間もこれー

蔣介石の股肱―陳兄弟

暗黑政治

秘密結社を暴く

F

楊村驛の附近にて

衝突の襲なき模様なるも

拳を確認

樹村派遣部隊一は十日午後二時半同地着、直に電

責任書を致す

沙州

オールド 年古 スコッチ ウヰスキー

意向傳達の中央軍部の

雅移を職職する部であるが那鵬の態度如何による北支那鵬の態度如何による北支 なす像定で

萬一に備 我駐屯軍の緊張

擴大方針だが萬一に備へるため一窓内は異常な絮説を示してゐる天津十日發國通』軍監局は事態一天津駐屯部隊に出動車備を命じ兵 直に何應欽に向って

鐵道沿線より

中央軍撤退要求

定を結ぶなどそんなことは何も合せに歸つて來ただけだ、新協

來(十日)

英を双方の間に図 保の調整を

な

やないと想つてゐる。 れ合ひのことだから、わたしゃなんか何も口だしをしようとは想は お父さんにだけは相談しなければ

駄骸としては身の

方である

「反転はなさるまいと想ふよ。 と結婚するにしても反對おやない



朴平解決を懇望 我が要求全部承認 十日何應欽か正式 回答

して請訓中のごころ九日夜中央より日本側要求全部承認せよごの正式電命に接したるを革土日設國通り九日恵井臺灣最より何際鉄に叩きつけた響戦抗議は支那側をいたく狼礁せしめ何應鉄は中央に急電を飛 日午後高橋武官に對し日本順の要求全部承認すと正式回答した

最後の重大協議 北平武官室公表 回の問題を和平裡に解決したき留本日午後大時軍事分會委員長何聴飲氏より回答し來れり」十日午後八時十五分武官室にては右に購し次の如く秘表した「支那側は我方の要求を答れ今十日午後八時十五分武官室にては右に購し次の如く秘表した「支那側は我方の要求を答れ今 る日本眺要来たる中央軍東北軍の撤退黨治の難脱る全部容認《北平十日發國通》何應較は九日夜江精衛より河北省に對す

日拂曦に及ぶ最後の重大磁叢を遂げた、その結果取敗ず中央

戦略二、第二十五兩節は河南省新郷に東北東は保定まで移聴するに決し十日戦から戦時襲行にとりかっする語の正式電能を接受し直に触交機、王徽常、關微験・黄杰等を指集し十日拂瞻に及ぶ最後の電大でする語の正式電

·央軍、政訓所員 日夜續々撤退

歌に大行李用二ヶ別東は十日午後十一時半北平西直門縣より漢母に向け能速した。一方移駐の途に既に大行李用二ヶ別東は十日午後二時より穫込み開始し午後八時前門縣發現可に出設した。又軍事分既に大行李用二ヶ別東は十日午後二時より穫込み開始し午後八時前門縣設平蔵線にて撤退開始に決定。 十二軍の百四十二師は十日午前八時發平世線で天津に向った、之で全部移駐完了す 我車は萬遺算なき用意を以つて一数節度なき支那兵のことであるから 北支問題奏上 參謀總長宮參內

于學忠麾下

我軍用電柱燒毀

に離戒中である

道路調查妨害 『上海特電十日酸』南京政府は北一時円電共同の形に於います。 一切をあって、之は腕

道路調管に起いた我部隊に動し後 ・ ら開かれる國務院意識に上議され ・ 開でる解釈系は十日午後二時か 『天津十日表園通』十日午後四時 『新京電話』日南郷燕共同委員館 日滿經濟條於

世界の歌篇であることが前明した 世年後二時堂・郷蒙閣が(〇家を 理摩して現場に然行し宗教を 理摩して現場に然行し宗教を では改進部であることが前明した

「完成國

かくの如き行動網館は如何なるが、は離損失が「保護安蔵」と飛してに現れたであらうか?元來山東にに現れたであらうか?元來山東に

の外目前の最も重要な活動とし

でする本筋は微動だもせず南京でしても本筋は微動だもせず南京でしても本筋は微動だもせず南京で 数器として且つ機平として影響
●我軍は事を好むものにあらば

の空観やボロを

影響を置い、十三日寛南全極と張國別を見る象定で表之を可決し、郷理との間に、新聞を見る象定で

關係調整

見るものと意思してゐる

喜多大佐赴津

と係へらるゝに難し孰れにせよ難が、或は黄郛氏といひ或は殷同氏

の注目を拂つてゐる

配いこと」なった

原少將は誤る新京電話』十日 知らぬ 土肥原少將談

司令部發表 | 楊村のわが軍用電 天津駐屯

撤退支那軍の

監視飽まで嚴重に

山海關に當分

をものであるし、これを承認するものであるし、これを承認するものであるし、これを承認するために出してる 関係が好くなるために出してる いっぱい これを承認するものであるし、これを承認するものであるし、これを承認する。 滯在する 儀我大佐談

上 大 大 大 連 地 方 法 院 長 大 連 地 方 法 院 長 長

院會議で可決

本の軍用電柱を増 にかぎつてあったためしがないこ 接言を苦しきうこことか、ことか、困つたことだとか、こ さらに云ふのを、

き集、関重都最の紹

わけぢやあるまいねし

総販式をあげなければいけない。 つても、一番重要なことだと云つ たのを想ひだし さんを君が愛することの上から 「お父さんは、僕が東京である これは君の生活にとつて





字街 (96)

にあぐらをかいて、酸に火をつけ ひだす時は、いつもお父さんの仕

「お前も知つての通り、お父さ わたしゃ、あなたにいろんな相 事が變になつてゐる時なんだよ。 わたしには、 続い間の無敵でそれが、 ちあんと解るんだからね。 それで様談と云ふのはほかでもないが、 お前さんこつちに歸つてきちゃ難へないだらうか」 「僕が歸つてどうするんです?」 「あんたに歸つて難へれば、わたしにとつちゃ、どんなに報避いこ 子供には、冷淡な性質だけれどとか解らないんだよ。お父さん

ったらう。そのことでわたしゃ、 にかけるわけぢゃな

談があるんだよし

「僕は東京で女房を費はうと他つね」

白くなささうなんだよ」

「配的くないつてどの位にです にもならない「東京で

拘禁さる

國通】關東軍特務機



本八百二繪

キッネ顔付鞣

名倉製作所

(通地獄から救ふ

か こと、なり、例年より一部総り版 こと、なり、例年より一部総り版 こと、なり、例年より一部総り版 十人物像を発れず、月解者は総局平均二 十人物像とみられてゐる

の座談會

婦人矯風會

ス廿八

諸外國の百科辭典

外務當局訂正に乘出す

日本を誤る

に基づき徹底的訂正を行はせる 時これを諸外國政府に送りこれ 時これを諸外國政府に送りこれ 北海道まで

慰問の行脚 橋本榮子刀自

り同月末職禰の豫定であるとの通信が十日本心発到着した 電は、奉天各省の一部に於けると ・ 大概感にあり、殊に安東、吉林、 ・ 大概感にあり、殊に安東、吉林、 ・ 大概感にあり、殊に安東、吉林、 られ既死するよりも取ろ自殺を避り、東遊道一帯だけでも六十萬と稱せ 村騎型の現況は で、これによって買込んだ穀類 ・ これによって買込んだ穀類 ・ これによって買込んだ穀類 ・ これによって買込んだ穀類 ・ これによって買込んだ穀類

國都の防空演習

昨年末民歌野玉艦となり災害地方のられてゐる、これが教際方法に 高画、本年一月再度百十二萬画を 製造を削む、昨年十二月百 製造を削む、昨年十二月百 概念事官等の報告 二日間に亘つて待望の最後的脈を經た防空演習は愈々十一日か

益々惠比須顔の滿鐵マン 在勤手當てのふえた上に

十二日頃から支給

當局としては結果につい より演習 再開 午後八時半演習 △演習第三日(十三日)午前六時

分間▲第六組(白菊町附近)▲三字菱第二回 午前十時から三十

▲その他の組(分園本部以下の

重な部に位置

の他の組(分團本部以下

後十時から三十

んだが機若に敗れて無念の漢を否む、打ち出し八時 一 回 戦 一 回 戦 一 回 戦

いき下較比御をメキキ

の妙所だ、さらりと姿勢を立て直 荷もむづかしいことゝ思ひます 満洲の農村は今大へん困つ

十五分から神宮ブールで懸行、結抗水上競技大會は九日午後零時四 『東京九日殺國通』第九回早慶新 對慶應水上競技

何しろ東京に居るときもこちらに來てからも暇がなくておちおち本も職んで居られない。これ

身の礁りに何から何まででデエーンさんのことから解れた

ない、記者と父君との言話はそこ

ころへ配りたがりもせぬといよこと、別だん母のと

別だん母のと

さをが氏はから 現在についてし

と、ボッリ語つて口を噤んだ絶領

號三十八百四萬

祖國ぶり鮮かな

英國總領事P·

・バトラー氏

ボトラー氏――詳しくはボール・ ば日本語に敬館である、もちろん は北の圏に生れた記者を追ひ抜く が鳴さだ、夫人との間に一人の令に 感感とご人の令箋とがあり、令は思と

奉天内殿地を課へ 電北に縦歌するを 電北に縦歌するを 電北に縦歌するを でで、一二十三三と をしてこ十三二 一十五本ある。二十 一十五本ある。二十 一十五本ある。二十 一十五本ある。二十

か……貯事大英能園無事最低こうことといひたげにハイヒールの織を叩く書職なるを使りに、ツイ はとはいつて空間子に刺を通ずれば かとはいつて空間子に刺を通ずれば かとして事情視の前へ通る

版るといった表

製った

たどそれ

それまでは東京に居りました。

六年

面に友達もタクサ

以てデエーンさんに相連

B

ある、この裏 摯な / 平和の に深く間ふ嘘ではない、第一向けて聲高らかに呼びかけて らか……然し、それは敢て茲ととりも力強く、粛洲國は今 の在瀬機關は果して正しく明足とりも力強く、粛洲國は今 の在瀬機關は果して正しく明ステップ・バイ・ステップの 豊/の放送に當つて、諸外國

である。
である。

ーーけど、土曜日の午後には日 職はゴルフ、あれもむろん連れ て行ぎますが、若いものは上達 が早いですね

奉天の巻(4)

ン出來たのですが、

氏の快部な整鵬は時に実をさへも さのふに送りしけさ月曜日の棚が きのふに送りしけさ月曜日の棚が

にしいのだ。東上電話がこの時何 、、、、、、、、、、、、、、、、、本當に 官かを鳴つて氏を呼び出しつゝ 高くこれを反芻した、窓外

市民よ車よ心せよど

ける四署總動員

問題の百科辭典は國際文化振典と正職事項を供給するととなったと正職事項を供給するととなった

船内を紊す 女給にお灸

スダイレン女給小田菊代へど

整留中の大義君に深込み、超特サは閉店後埠頭第二十二番バースに 署に出頭を命ぜられ、 ーピスに従事した事實を水上署員 製に艦式日高某は十日午後小崗子に繋卸され衝留二日に處せられた

夏

▲百宵冰 一着勝又(早大)二着 一百米自由型 一着坂上(早大) 一百米自由型 一着坂上(早大) 一百米自由型 一着坂上(早大)

"HOMELITE"

场带用资電装置 電広三ポルト 九〇〇フッ ノット以上

ムライト

新登允電 WISA 無人然電信用 三手輸入工 製置無線電無株式會行

灌溉用·土木工事用

陳列

弊店の自信ある逸品 ○○○○京夏京 京 石比着

O O

半額以下にて多數提供仕候間是非々々ヒヤカシア御來店を御待申上录 見 品

F

但馬町の会大

氣の毒な

護の手伸ぶ

町百三十番地石山二郎(三)=俊名が見るに見かねて保護を加へることになった、元満路代戦市内若狭とになった、元満路代戦市内若狭とになった、元満路代戦市内若狭 百圓を超えず、病氣療養のため に至つた、だが退職金は二千五 に至つた、だが退職金は二千五 石山さんは大正十二年から昭和

勝す、閉戦

飢饉に、義倉

百圓を超えず、病氣療養のため

先づ管内移民を行ふつも

清水總務司長語る

方とそれと反對の地方との不均地域に比して人口稠密過ぎる地地域に比して人口稠密過ぎる地地域に比して人口稠密過ぎる地

愈よけふから開始 カツ島、二回戦に緩川、三回戦に戦後に送られた党輩山は一回戦に 長山と破竹の勢ひで優勝戦に関

■▲各組(警護、警報

オン言語が

△字襲第一回 午前八時から三十の行動分臘左の如し

に燒夷彈、ガス彈投下の狀況を分間▲現不班第三組(南領市街

製計畫に伴ふ狀況現示班の第一日

携帶用咽筒

水量毎時三九〇〇プロン リフトミナ吹

早大九年連勝

严明高女首位

競技は接触に次く膨散に膨張の一よあつて午後四時感動裡に終了。 大連運動場に於て額行したが、 進記舞「腹は日の鬼」のマスゲ 要校體育大會は十日午後引き劇 後三時半全感加着九千餘名の大 一般大量は十日午後引きを

美形の爭奪聲援

後援會の總見に満員の

東京大角力三日目

て猛烈な事態

Joy of the Taste

高級エヂブト煙草

当(すくひ投)九州山野(寄り切り)和歌島

奥地への 内地への 御土産物は

洋洋洋洋 煙料 草品子酒

専門の輸入元 浪速町の

オリヱンタル 電話 四四二五三番

御相談に應じますの線業に関する線での 大連市児玉町三八

丁鑛業 所

世界各國酒類・食料品 キング ジ 3 五〇本罐入

- 六0 9 本各地名産

中智學先生購大講演 主催

滿鐵協和會館にて 教化藝術(明白演及國性舞踊繁煌)

六月十一日

入場無料

日

重

バムル
品作特トンウマラバ
氰化朗明の「ロレポ」

B

满

ウェンとシーナ・オウェンのアイン・ゲーリングで、関慢ほガイオン・ゲーリングで、関慢ほガイオン・ゲーリングで、関慢はガイオン・ゲーリングで、関慢はガイオ

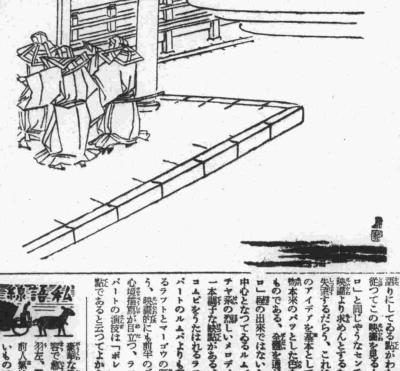
火に、通信、

.50 .50 1.00

ラチオ用

田川 += か は頭痛に冠る鐵兜 水之江澄子

主 演











MISHIMAYA

夏背廣三ツ揃

輕やかなトロビカル・ボーラ生地を特に今年度は多数内外よう 取揃へ皆樣の御好評を得て居ります 是非御一見の程を 舶來特選品 ¥ 47.00...... ¥ 110.00

國產優秀品 ¥ 30,00......¥ 60,00

白セルズボン

縮地充分に・生地に嚴選を重ねたる優秀品のみで御座います 夏のズボンミして御禰足を得る事が出來るご思つて居ります ¥ 7.00...... ¥ 20.00

變リチョッキ

チョツキ地・憂美ご高尚を兼ね夏のチョツキごして充分に 誇り得る品物で御座います

¥ 8,00 尚御一報下さいますれば早速御同ひ申上ます

岩代町八

電話二·六五四九番 振替大建四五五九番

扱れて墨った頭も で爽かに 晴 町 速 浪 市 連 大 社會式株築資本日 新規

をいからし、高足証を寄みならし 見も知らぬ荒場師の一群が、属

仙 專門栽培 版替 名古風一七一五二香

(238)

夏の飲料

セーピス試飲賣出し

シロップ新入荷品揃 オレンヂ・ストロベリー

銀行

同業公會組織

超期に入るものと見られる

軍々第二回社債

る大豆の出庫は大部、一工

安値を破る一方で三個四十七銭とに掛されて此處全く電景奏館し新に掛されて此處全く電景奏館し新

節句を境に選コースを辿り磨敗バナナ下押す 例年の如

十日夜清津から歐洲へ

鐵路總局、國際運輸も援助

制限外許可

人絹見送る

西瓜取り 野時時季號で置れば強気に消化され能り商派を至しまたが依然性質の電源に活とない大量人なは強気において、大量人なは強気を持ている。 これは強気を

上海休市の爲め極度の海商内閑散 上海休市の爲め極度の海商内閑散 上海休市の爲め極度の海商内閑散 大月十 [宋臺] [宋函]

賃銀の適切な

情に 整みこの 歌人 歌劇者を日本人り、ブラジルに於ては 從來ョーロ

大連卸相場合

支拂方法を樹立

大連工業會有志小洋對策協議

一大五五八九三五八九三五八九三五八九三五八九三五八九三

大連跳に搬動は来る二十五日から 画話と繋げて成総数加すること の質 のだい、大連跳の動上げ分盤線二十 の質 のに、大連跳の動上げ分盤線二十 の質 のに、大連跳の動上げ分盤線二十 の質 のに、大連跳の動上げ分盤線二十 の質 とを転し合せて午後二時半数會し を表したであり、この野間中にブラッ もに 加器底を繋げて成総数加すること を表し合せて午後二時半数會し を表しいてであり、この野間中にブラッ もに 加器底を繋げて成総数加すること を表し合せて午後二時半数會し を表し合せて午後二時半数會し 一個素人祭動者の在的野間は下 であり、この野間中にブラッ とを転し合せて午後二時半数的。 であり、この野間中にブラッ とを、新て一時不参加を無へられたであり、この野間中にブラッ とを、大連跳の参加により全粛大質出し ・ に告うことを得る、但し を表しらせて、野田しにない。 を表しいてであり、この野間中にブラッ とし、大連跳の範は下であり、この野間中にブラッ とし、大連跳の動上げ分盤線二十 の華々しさが象別されるに至つた ・ 取到水後部画することを要す の質とび、野間を を表し、大連跳の画 を表し、大連跳の画 とを表し、大連跳の画 を表し、大連跳に、大連路にとない。 であり、この野間中にブラッ とし、大連路にとない。 であり、この野間中にブラッ とし、大連路にとない。 であり、この野間やにブラッ とし、大連路にとない。 であり、この野間中にブラッ とし、大連路にとない。 であり、この野間中にブラッ とし、大連路にとない。 であり、この野間中にブラッ とし、大連路にとない。 であり、この野間中にブラッ

期間は五ヶ年

重要品輸出入額

月上旬転外館場機算左の如し〈軍、東京十日般國通』大蔵省後表六

出超の跡を受けて六月上旬貿易

上旬對外貿易

輸入超過約八百萬圓-

日本製麻物が著増す

車數瓲數共減少

するに、東敷において四分、また
市年同月駆敷二八八、九七六融に
比べ四割五分の減少を示してるる

五月大連埠頭到着貨物

出來高 三百車 曹通大豆 出來不申 豆 粕 一四三〇 一四三〇 日來高 六千枚 豆 油 一二七〇 三二七〇 出來高 四千箱 出來高 四千箱

分擔額二十萬圓は

責任を以て引受く

大連側の賣出参加方針

區々低迷

柳巌 | 「全 二 全 二 全 二 全

殺

三二、四五 九六二〇

原今、地一市、沢 東か 一〇三、九五 一〇三、八 東か 一〇三、九五 一〇三、八 東か 一〇三、九五 一〇三、八 東か 二二、八

△カジキ四、五△シピー六△甲イカ二○△水イ は少蔵、相場は何は少蔵、相場は何は少蔵、相場は何は少蔵、相場は何人(前部数地物三、二五、朝鮮物五二人、取引高一萬七人、取引高一萬七人、取引高一萬七人、取引高一萬七人、取引高一萬七人、取引高一萬七人、取引高一萬七人、水十五〇十一人本十二十一人四人メバー人の一十二人本十二十一十四人メバー 製造元 神戸市二番町 著名醫院御採用 各地薬店にあり **錢神戶衛生實驗所**

極めて良好此處好觀の波に乗つて

後場市況中 思

一五一九人婦人、

消化不良、鼓腸 関、腎臓炎、動 原で腸チフス等 療で腸チフス等 ル、醱酵性下点 を殺滅し、毒素の生成 敗を防止し、有害細菌 に於て、異常酸酵・腐 る强力乳酸菌製劑にし を阻止する作用顯著な に處方せらる。 知名醫家によりて盛ん 豫防並に保健剤として て、現今膓疾患治療と 醱酵性下痢 化 3





35-686(0)



¥ 2.00 ¥ 3.00 ¥ 5.00 ¥10.00 發賣元 大阪市東區南久太郎町二丁目 電話船場圖 | 五〇 番電話船場圖 | 五〇· | 五五番

五 日七日半十三日廿七日

竹村製劑所出張所

葉を求めす本舗へ直接申込あれ直に送業す (送料 不 要)

大阪市道修町

療法を職らぬ患者は新聞廣告等に惑はされ必ず で見る。さらして黴菌を逆に奥へ押込んで膀胱カタルを起したり、睾丸炎に罹つたりして散々な目に遭つた後ウント後悔する十中八九迄は皆 なるに変われる断然懷まねばならぬ

自家尿道洗滌の危險

て、腸粘膜よりの吸收極めて速く服薬型 朝尿は藍色に變じ强きリベール臭を 放って排出し此時己に快感を費ゆ。 が一心の変効を最も確實に識 をにはその尿を採つて専門家に頼み るにはその尿を採つて専門家に頼み るにはその尿を採つて専門家に頼み が最も早道で服薬後に日を追ふて徹 が最も早道で服薬後に日を追ふて徹 が最も早道で服薬後に日を追ふて徹 0 特徵

この黴菌は單味の白檀油球やベルサム球等の内では充分に目的は達せられぬ之等の薬は多白色粘液を分泌する。特製リベールの製造に苦白色粘液を分泌する。特製リベールの製造に苦白色粘液を分泌する。特製リベールの製造に苦水其他の諸國へ輸出激増せるは蓋し効果の優秀米其他の諸國へ輸出激増せるは蓋し効果の優秀

薬の撰擇を誤るな

恐ろしき淋病の黴菌

こたが、情勢はなは実践を許さい

きのふ開催

天津會議

示事認に伴ふ最後的取極め加側の我要求實行監視

監監視することしなった

の害であつた天津倉譲を一

高橋武官談

わが要求事項の

完全履行を監視

現地軍部今後の方針

事項を部を勿論正常であるとしては開催したものであり、今この要求

見られてる

によって端なく「て臨み來つた日本途に默許し得ず 製日系兩新販社」なり、常に椰郷的友誼と覧客を以 い的無日が非武装」もわが當局の痛憤を買ふところと

を一新した親目的政策を執るもの | 1億のためにも好かれと希望して | るため嗣話の間に何等かの申合せを全部承認したので、今後はこれ | 行に養手するものとして今後の野 | 行に際しては全面的に日童兩國とを全部承認したので、今後はこれ | 行に養手するものとして今後の野 | 行に際しては全面的に日童兩國とを全部承認したので、今後はこれ | 行に養手するものとして今後の野 | 行に際しては全面的に日童兩國とを全部承認したので、今後はこれ | 行に養手するものとして今後の野 | 行に際しては全面的に日童兩國とを全部承認したので、今後はこれ | 行に養手するものとして今後の野 | 行に際しては全面的に日童兩國とを主義の要素 | なる政権として凡ゆる新政策の實 | 変を教史しない限りその政策の實

表面は案外に靜穏

表街には依然排

排

目

傳

里

動く河北の空氣

(-)

寫並に

佐內特派員

親日滿政策を期待

强力なる新政権により

黄郛系人

于學忠軍以上の侮日的行為

關東軍側、極度に激怒

非行として嚴重的でと日本側に整つたことがよる十日である。 では、月五日第二時であって、 では、月五日第二時であって、 では、月五日第二時であって、 では、月五日第二時では、 では、月五日第二時では、 では、月五日第二時では、 では、日本側に整つた。 では、日本側に整つた。 では、日本側に整つた。

不法監禁 を受けたもの

南軍司令官

十一日朝歸任

り合はす、第六十二師司令部にり合はす、第六十二師司令部において第三十二師の衛兵を得職の身分證明書を示したがかくの如ぎものは無効なりと取め合はす、第六十二師司令部に

ので、 訊問など

同様の事件を辞

張北

眞相

土肥原少將談

津地方中心どして 北支治安確保の根本對策

切の反日滿行動解消

要求を實行せば

新協定必要な

後の北支球艦の動きの如何によつ との見解を有して居り、從つて今 との見解を有して居り、從つて今 との見解を有して居り、從つて今

他兵第七團

四十分朱乙温泉着精進館に入った。
「集会」とは十一日午前九時半羅南護同十時は十一日午前九時半羅南護同十時

林陸相一行

てこの問題は決定されるもので

| 【北平十一日發國通』 撤退を開始 | 日午後十時北平震安門職より平蔵 縦にて新郷へ向った

午後十一時六分裂で出変の豫定

ばいかる丸船客

開東軍當局の態度

滿支緩衝地帯の出現

(東京特電十一日發) 陸軍中央部は北支間時

「反滿行動を艾除するにあるを以て此の目的達成のためには在來の停職協定區域は勿論、平津を中心こする地帶回支那側は我要求の全部を容認してゐるが、之を實行しなければ何にもならない、我要求するところは北支より一切の排經するとの説を否認してゐるが、大艦在の如く注眼すべき見앝を持しつゝある うが此の目的に向つて努力することが且繭支三國のためにも東洋平和のためにも必要でも滿支間の緩衝地帶こもいふべき平和境の出現が豫想される、 北支政權再組織

の新熊勢を職職し且つ日粛支鵬像の大と共に北支より退職する他なく ならぬことが必然の課題となった 人物を中心とする組織でなければの触和鋭ぎ方策を襲行する力ある

大小順が繋がの履行により中央取 でを確立するに至った、乃ち今後の を確立するに至った、乃ち今後の を確立するに至った、乃ち今後の を確立するに至った、乃ち今後の では、のでは、のででは、 が表質がある。 では、のでは、 が表質があった。 が表質がある。 では、 のでは、 のでは、

八物退却の外無し

越した の祖代を以て國民に對し左の如く熊外的言動及び國交を阻害する關係の組織を繋げ 日附を以て國民に對し左の如く熊外的言動及び國交を阻害する關係の組織を繋げ という。 日前を以て國民に對し左の如く熊外的言動及び國交を阻害する關係の組織を繋げ の記述という。 1975年 - 日本國連盟國民政府は十日我方の要求を受論し、その難行を回答する。

る言論やを

國交を阻害する團體組織禁止

國民政府命令を發

、新軍事協定の如き 軍訓所封鎖 日が最も緊要

の撤去を命じた。又新生活運動員の徽章 であるが、陽東軍としては支那側 起すことなく、を命じた、又新生活運動員の徽章 であるが、陽東軍としては支那側 起すことなく、を命じた。又新生活運動員の徽章 であるが、陽東軍としては支那側 起すことなく、

籍るか否かは今後の重要問題の一つ本軍の出動を促するか否がは今後の重要問題のの「別を起すなどの行際に対し現在の停戦」引爆部隊が天東北部の方面を対している。 本事項の置行を選挙して、 本事項の置いて、 本事項の置いて、 本事項の置いて、 本事項の置いて、 本事項の関いて、 本事項の関いで、 本事項の関いて、 本事項の関いて、 本事項の関いて、 本事項の関いて、 本事項の関いて、 本事項の関いて、 本事項の関いて、 本事項の関いで、 本事項の関いて、 本事項の関いで、 本事項の関いで、 本事項の関いて、 本事項の関いで、 本事項の関いで、 本事項の関いで、 本事項の関いで、 本事のので、 本事項の関いで、 本事のので、 本事ので、 本をので、 本事ので、 本をので、 本をので

単北平等において動 うが如き不祥事を 行為を行つて、日

問題 何應欽辭職 段落後

殷同、袁良等も辭職

の際馬玉神の出場を求め、反麻運の際馬玉神の出場を求め、反麻運要求意識に憤慨した于學忠、末 反蔣と抗日運動 北支將領、密電交換

て居る、第七父一酸酸の前の離蹊、 せたと無へられ注目されてゐる 北平二機關

北の重要項目たる欧洲窓町安美館 には一段落した形である、然し要 には一段落した形である、然し要

は手段が一層巧妙になつたのか、は手段が一層巧妙になったのか、 支那側が今度は表面全で鳴りを観察に勝田工作を表面化してゐた を所に勝田工作を表面化してゐた 一皮黒には依然として群のまへので、塗り潰したばかりの新壁のの、、塗り潰したばかりの新壁のの、、塗り潰したばかりの新壁のの、、塗り潰したばかりの新壁のの、、塗り潰したばかりの新壁のの、、塗り潰したばかりの新壁のが、これは中央戦略が景は現在の天 態を裝って居る レントゲン科 呼吸器病科 新陳代謝病

の全部實行完了する透は関係、子供忠軍の陜西移駐 手段に出づる意識である

れからが彪々本原書。 までも進行である事を鑑記せよ。 支那側の反省で形式

を親つて見ると、そこにはま

一部が形人商店に入つて來て無作を書の見て居る前です!

『大津十日殺國通』萬一の事態に

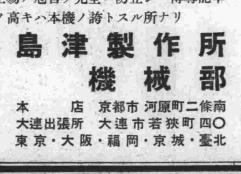
租界を警備











東軍司令官才が祭へ北瀬湖南中の南軍司帝国、局面命少將以下版人劉樂郡大に行命記は八日帝が南別外のオ末殿に影脱した、今年のオ北鏡は北海

英國代表は大體においてドイ

なは英傷會談は

我意向聽取

英張南国歌府一の動談において英政府は四 英が對獨回答を前に 社

說

人は

薫くの

如き

解的

整明は

表な

かつた。
併しな

がらその

時吾

で政府に對する格別の反對も

やうな意味の辯解があつた。 いから已むを得ないのだとい

聯海軍五

年計畫

最少限度一億留を投じて

バルト海の制海權を確保

て海車復興五ケ年計畫を遂行一、最少限度一億ループルを投じ

小型艦艇に止まらず巡洋艦の建た水電艇、潜水艦、履速艦等のた水電艇、潜水艦、履速艦等の

電しておいた

近く適切なる解決策が講ぜら

南洋進出の

滿ソ聯絡會議

來る十七日出發

穏かならぬ。それでは日支

。時に葛藤あるは一時的現

にベルリン十日義國通」ロシア海出したのに刺動され、窓々海電五 インランド歌等における海軍大戦 る、モスクワよりの歌道によれば 書でもแ應を繋ぎしたと傳へられ 右五ケ年計畫を假立し、バルト海の謎 つが、ドイツ歌府が海軍復興に減 るるる

ソ聯営々として

極東戰備充實

を受けてゐる。そればかりでな 日本ばかりでなく列頭もその害 轉向せんとしつゝあるさうであ 部内に入れて、漸次政府一元に最近では黨部の主要人物を政府

一所も、列國も利益するわけだ。

から去來してゐることだ

に於て國民黨が

端坐の苦痛

內以行十五 越させらる」こ 死者の霊に動す

日赤痢にて華天神大病院に入院

流言取締通牒

致しては今直ぐに る。此等古刹で確宗の寺院に名にも土間の寺院はが譲越々にあ 間にするが自然であつた、日本らば、支那寺院の如く第内を土

久保田參謀長

関東洲へ

全圖

(特價三十錢)

れば、寺院の

を表示が軽くすめばと心に売り、 れば、寺殿を書編が献上に現れ、時には ◆悪に着壁を が概での動き書編が献上に現れ、時には ◆悪に着壁を が概での動きのできる。 れば、寺殿

眞の日支提携は 民衆を對象 兩代表の初會見 會議範圍の取きめ やうに思はれる、
能つて國際聯やうに思はれる、
能つて國際聯やうに思はれる、
能つて國際聯を綜合するる

入島大佐歸任

高級エヂプト煙草

キング

ジ

9

五〇本罐入

-六 三

食料品



の及ばない方面に於て抗日運

磯場及資源一切を極東軍に委譲

府は本年一月以來チタ、庫倫 薬譲道敷設の狀況 ソ聯中央

村は軍備費捻出の一方策と

あり(ニ)ダウリヤ側兵一個大一・個職隊移駐した

楊木林子に於る

の野門家雅は俗理旅物省商工課長

日·蘇衝突事件

我外務當局眞相宣明

最近ソ聯中央政

四十八毫、ボルジア鎌橋には常四十八毫、ボルジア鎌ヶ下

大隊、戦東隊一個中隊

備ふ(ホ)マチへスカヤ南西三隊一備大隊、爆撃機四十八機を

最近に於る工作狀況

柴山中佐語る

來たもの」、

八田副總裁 關東軍ご打合せ

此方の

氏は十日外粉省に東郷局長を訪問 人しをりたる赤軍より不法とける日ソ隣関長の衝突事件に賜し 日本斥候十三名が國境内を持る日ソ隣國長の衝突事件に賜し 日本斥候十三名が國境内を開している。 日本には十日外粉省に東京十一日韓國通過一六月三日満 局談を試み事性の風格を買用 『東京十一日韓國通』六月三日満 局談を試み事性の風格を買用

満蒙親善反對の力

外蒙を裏から壓迫

滿洲里會議停頓の

力の意向を反映したものと見られ

る、瀬洲國側の見解は

蔵川の意見に対 といふにある、

際上からもこの演洲

とすれば、断乎として是正すたがこれを阻止する如きもの うだが、それは誤りで、相策放棄と考へてゐる向もな

瀬臨副總裁は石本總務部長を常同 た宇佐美術範理事に引攬き、八田【新京電話】十日午前七時着京し 主總會に出席するので、その前に八田副総裁談】十二日の船で株

に過ぎない、一身上の問題で、映脈東軍と打合せにやつて来 于琛徵上將 緒にやつて來た、

味徹上粉は十八日のあじあで来任 正命された前第三軍管區司令官于

○頭痛!!

やつはり

然を視察し來月上旬頃歸京の豫定

東、北平等に滞在しその間北支情なは同中佐は十二日海路渡支、天

如何に苦しめられたことか。彼支那の國民は國民黨の爲めに

ないそうにあらればならめる

再びあのやうな聲明は

れは従来軍閥といぶ暴君に仕へ

へわばならなくなつた。
、第部は
出來てから、
更に此暴君にも仕

のつても、各自は獨立で各別に星部を支配するといい建前では

の四十萬噸容認

漫政府に對し回答

順を保有し度き

ギリシャ

英は北海の優勢維持

愼重

なる考

要に人民投票を執行王政復活か合 を制し憲法議會に二百八十五の議 を制し憲法議會に二百八十五の議 を制し憲法議會に二百八十五の議

慮を要す

海軍當局の見解

要求問題につき海軍

オルギオス二世が復活することにならう

ギリシャ廢帝

パリに急行

な規定せんとの意見を影響した所で規定するとの意見を影響した所では、

延だったが外蒙側の回訓未着のた

と敢て思

派は十五日京城出設瀬洲國訪問に『京れ特電十日観』今井田政務總 今井田總監訪滿

新

發

賣

來蘭中の大蔵省金子預金部長は十

金子預金部長入院

字佐美總局長 [奉天軍 總理秘書官任命

秋山中佐婦國(新京十一日最國通)約十ヶ月に亘り歐洲

度可服每度で健腦

はれやか

オルギオス二世は王疏復贈を象別に職職中であつたギリシヤ願密ギ

出気なき子は ニレンクラン 賞をがらいるころ 弊店食堂部では フトン御紅茶を 御添へ致します 一品御料理にリ 界各國酒類



4 Joy of the Taste 生徒募集 英文和家華文印書 販賣は全講著名書籍店及滿洲日報販賣店で取扱つてゐます 新入荷

日本各地名産

英和タイピスト學院

高野 第二 號」 電話 1

キ馬カ四十五貫 十馬カ四十五貫

御使用家が立證

花, /3ナル. が シチー銀行

127.500.000-大連市山縣通十回大倉ビル

剛東州廳監修

新最 東

局監 修 地圖

· 區劃 八 新行政

(特 價 六 十 錢)

害 駆除剤 虫

果園農産

發賣元 光武商店

滿人練習生が輸血を競ふ

る佳話

君達は女優か

歸國した舊北鐵ソ聯從業員を

迎へる嘲笑と愚弄

り執行したが、内田

THE

ましい機能実際がある

院に收容された龍江殿敷都沿掌官宮田正武氏(生)を続る友情と園境を粧えた師弟愛の渡く『チチハル』巻に龍近殿李三臣北方紋二十五キロの地翫で貯蔵に僻つき、チチハル演纂繁

日

に進んで輸配を申出で、うち同型「今や生死の境を彷徨する感師の艦」き好間の説り草とされてゐる名は肺感に凝いるは此株とはかり「総郎は八日朝玉治醫の手によつて」なく、縁賦に乗せて全満に勝るべいの意思をである。

学職り勝ちであるか一方

教師の憲を心

役割では同人の住宅を消蔽し、

ル本署に通知して、防疫に大量と

間ソ職本國

吸收し社會主義組織に慣れるま

龍江

省消組問題

在齊商店側對策協議

敗した

内に注ぎ込まれた、既に響師より であるが、此の美しい友情。麗し であるが、此の美しい友情。麗し

松花江の流

大公園發見

瀕死の指導官に

し勾湯溝

西澤部隊苦戰詳報

系(北國、

敵匪と

一のそ

壯烈!六勇士の の激戦 歌歌概要を知つた井上 隊長初めか、四月二十三日軸比の那形なる て岫巌に発野し情報を一壁嶽湖せ 死をした勇士の辛苦と心中を祭す 最期

以上あつて其の主なる系統は ・三十の監艦のものが二十 のは、三十の監艦のものが二十 記事を差止めたが、告別式的に當 に事を差止めたが、告別式的に當 計畫する大討伐の外に匪情あり次 も動画中隊あつて各地に分散駐屯 一個連内外に分れ駐屯し駅警察隊 殿の奥深く逃げ込んで來た、暗神見され追應されて西へ西へと岫巖

吉伍

ある、かうした天然の大冷園が今 に推飛の襲傭に場員一同大童で を選手のでである。からした天然の大冷園が今に 花江の流れに映じ遠く連撃 日の露軍の威力を偲ぶに充分

長の指揮する。近兵、一條を四道河ひ出動を命じ、同時に松木特務門 長岡八郎氏の指揮する警察騎 国の態労を 加へる豫定。

その香魂を残ったもの文字画りに世を去り、大変でありに世を去り

賣出した上海のス 名映画「桃李劫」 と脚を の で 電通 の で 電通 の で 電通

南留三十日通算)勢行着徐二年の十日旅順殺策部で懲役三月(未決・日旅順殺策部で懲役三月(未決・で終訴中の窃盗犯三石三郎に對して終訴中の窃盗犯三石三郎に對している。

眞性天然痘 ル

大工門連識出く。心は去る二十五日大工門連識出く。心は去る二十五日大工門連識出く。心は去る二十五日大工門連識出く。心は去る二十五日大工門連識出と響えてゐたが、無河はれ病驅を押して二十八日チチハはれ病驅を押して二十八日チチハは北病驅を押して二十八日チチハは大田野神に野常した。直に東田野神となった。 恒龍が途に跳撃に低せて満州國民

「あなたは年の若いのにこんな大「あなたは年の若いのにこんな大

では書いては書いては書いては書いては書いている。 護告に 取締を ツ端からはが は街々の壁に

か、時の交人が、静臓に長じて名勝北山に は、 ・ 中央委員監督を通過して決定し、 ・ 大九名の要人が、その戦節委員に ・ 大九名の要人が、その戦節委員に ・ 大九名の要人が、その戦節を通過して決定し、 ・ 大九名の要人が、その戦節を通過して決定し、 給さんたちの態度が見もの。 た力の態度が見もの。

てゆくと、兄の方の夫人に膨動され人は総いで夫人の部屋に入つ一 がお見えになり奥様のお部屋にる

炭ットでは、二人は彼を書類に迎へれてゐる悪少年を見出した。 董少れてゐる悪少年を見出した。 董少 それを手にして繰展げ、繰返したの詩話を一冊づつ贈つた。二人は 来た土産物を差出し、取験した例 達はうつかりして全く忘却してるらしつたことがありましたね。私 「父の關係の方だつたので存じて

であなたは年の若いのにこんな大 「あなたは年の若いのにこんな大 であなたは年の若いのにこんな大 であなたは年の若いのにこんな大 であなたは年の若いのにこんな大 であなたは年の若いのにこんな大 でいまお二人にお言ひしお父様の と鑑賞した。 と鑑賞した。 と鑑賞した。 と選賞した。 と選賞した。 と選賞した。 と選賞した。

堂洋東橋高京東

を市政府に強要したが市政府では
あ先づ市内一切の女経歴用禁止方
め先づ市内一切の女経歴用禁止方 ら早既女給職業に何かの一大制限また別の意味で風紀改善の見地か

た、編修公は公産を家まで送って た、編修公は公産を家まで送って ちから闘宅した。 兄弟が邸に入ると「嘉興の若様

牛布衣といる名を繋くと遠夕年 「その方は山東で范學臺の幕下に

「一直く客間に通せ」

端儒林 外史 梓

で「一七名」新京より一六列車で 本は理解中等教育會鮮繭視祭團! 本は理解中等教育會鮮繭視祭團! 本は政部教員講習所生一行五七名 本職選より二列車で着京 ・職選より二列車で着京 ・職選より二列車で着京 ・職選より二列車で着京 ・職選より二列車で着京

deal

I teal I dea

沼三 久

の歐洲を含められました」とかのの歐洲を含められました。兄弟も少年も一綱になつて勢つた。兄弟になって勢つた。 にその人を得たことは嬉しく思ひれたのお記述なお話を見て、後嗣 サ年はもの優しく無へた。 少年はもの優しく無へた。 「そう。どうしてあなた個存じで居られた方ではありますまいか」 また私共の郷に好い語をして下すれてに遠慮のない間柄だが、今は **竜生の答案を探した時の話を話出** 7老先生は御壯健であらつしゃい つて感謝に堪へません。どうぞ、 物語をなされ、維語中に巧に名士してお父権は何景明の一くさりの 「お蔭様で丈夫です。祖父も何時と問ふた。 るお父様はあそこにる dea 水白粉が爽やかな水白粉はこのアイニ イデアル化粧水 濃肌白 肌 色色色 見た目の凉しさは けた氣分は 十目 あの心地 手軽にした 眞珠に觸れた ヒンヤリと 申分なく添ひませ 御意向に 凉しさを呼ぶ ほんのり甘い香りさ 薄目で品よ お化粧を ノビの早い 艶にあり 風を呼ぶ Sdoal

水戀ふ船 陸に立往生

解氷以來蔵水に惱まされた松花江の水量 一進一退で例年の

記録づいた)ので無切に感じたと、 はならない監等語し、 ないのですれ、丁更いたいのですれ、丁更いたのですれ、丁更いならない監等語します。

滿洲娘を思ふ

山嵐の洲滿

野下美化工作に 書の一部として に古林)都市部

桃での唯一の名所として可なり 魔は各種廟の存

地元を始め新京から杖を曳くものが軽見されの横門の原山々としてが軽見されの横門の原山々として

地元市民の散策場に利用の繪にも似た絶好の地

らやつて来た女優さんかりとコ 娘等が突然

/ 君等は
ハリウッド

學童約千五百名

の株式組

化敦 木製器の生 を変える器

がんさ屋木材

も分らす皆性に耽つてゐるのです 一人は少年の突然の説哉を非常に で遠来の客を述べた。それから書

意を腹密に充て返留するやうに動物を腹密に充て返留するやうに動

廣軌線沿線從業員宿舍ご

小學校開校準備

吉林にまた新名所

もの」如くである、盛装・

際に下

ドがのル

が非常に多くなつた、此の大自然 十分も波間を行けば其處には天國との変質を搬つて漂流を機脈終三 青緑黄の草花が胃もあやなる五彩にも似た五色の花が撩亂として赤

の如き和やかな情景を呈しつくか 頭の羊が天よりの使者か平守り繪にも優る自然の線野には五十

年の歴史を物識るが如き老木が版一年の歴史を物識るが如き老木が版 「本天」廣眺線沿線に南海、藤路 打合せ会議を開催しこれが經營方 高保費において調査中であるが歸 第二撃期となる機樣である、なは 議を確るソ職人の本月二十二日歸 小婆完賞は財下調査中で戦明しな 地。 選邦政内に立退くのを待つて同宿 いが大き丁五百名こ 彰了るもんと かまれるで、是等小學校の開校は かまれるで、是等小學校の開校は かまれるで、是等小學校の開校は かまれるで、是等小學校の開校は かまれるで、是等小學校の開校は かまれるで、是等小學校の開校は かまれるで、是等小學校の開校は かまれるで、是等小學校の開校は かまれるで、是等小學校の開校は かまれるで、と等小學校の開校は かまれるで、と等小學校の開校は かまれるで、と等小學校の開校は かまれるで、と等小學校の開校は かまれるで、と等小學校の開校は かまれるで、と等小學校の開校は かまれるで、と等小學校の開校は かまれるで、と等小學校の開校は かまれるで、と言い學校の開校は かまれるで、と言い學校の開校は かまれるで、と言い學校の開校は かまれるで、と言い學校の開校は かまれるで、と言い學校の開校は かまれるで、と言い學校の開校は かまれるで、と言い學校の開校は かまれるで、と言い學校の開校は かまれるで、と言い学校の開校は かまれるで、と言い学校のまた。 かまれるで、と言い学校の開始は かまれるで、と言い学校の開始は かまれるで、と言い学校の開始は かまれるで、と言いで、と言い学校の関係を かまれるで、と言い学校の関係を かまれるで、と言い学校の関係を かまれるで、と言い学校ので、と言い学校ので、と言い学校ので、と言い学校ので、と言い学校ので、 かまれるで、と言い学校ので、 かまれるで、と言い学校ので、 かまれるで、 かまなるで、 かまなる。 かまなるで、 かまなる。 かまなる。

組合側の懇談的會見中

あたが、最近三者翻譯の結果愈々 原祭を懸行するやう計畫を進めて

をお描きしてみるから料理の用意 をお描きしてるるから料理の用意 をお描きしてるるから料理の用意 をお描きしてるるから料理の用意 来て微笑を呼びつけて明日、編修公を 来て微笑を含みながら悪の年に 「私蜜は明日一人の招客をしたか 「私蜜は明日一人の招客をしたか

立つべく泉谷数立委員

筋の途を講ぜんとし

能事は調像 たが、その齢 たが、その齢 を揺いて安

会の吸造又は新樂を可急的速かに を配ることとなってある、一方これに伴ふ子弟の教育についても郷 記して日本人児童の教育を立て、 語して日本人児童の教育をなすべ

ルーチチハル 慰靈祭『チチハ

◆…家にも蔵低はあるのだが能 ◆…家にも蔵低はあるのだが能 けないのだな、鬱祗質でも大工で 夫と共かせぎをす うるといる氣概を

今井量二氏

内容が残って居る内容が残って居る

うなものと概識上非常に懸

ふのは繭洲の青年に何處となく

團體往來千日

協會員三〇名 三列原業生二二名 二二

必要なのではないか、尤も形分に を載ふといふ値の力を養ふことが を載ふといふ値の力を養ふことが 置場において盛大なる慇懃祭を撃

東で合い第一人 東にて大連へ 本にて大連へ 本にて大連へ 本にて大連へ 本にて大連へ 本にて大連へ 本にて大連へ 本にて大連へ 本にて大連へ 本にて 本にて 本にて 本にて を合いまで新京へ 本になる。 本にな。 本になる。 本にな。 本になる。 本になる。 本にな。 本にな。 本にな

少年は直ぐと「どなたでせうか」と問ひ返した。
「同様の書編修公といつて、父が書談や総覧を「撃っつてゐるとも及い。
別の方が答べると弟もから言ひ

でひょつこり遇ひ、彼から御馳走 なつたので明日はそのお返しで

を傾け攻撃を識じた。日暮まで飲む。と、兄の方が彼を引留めた。

日支經濟提携の

目標は中部支那

一まづ片づいたにしても、そんない、從つて今度の北支事件が



(新京電話) 全國普通銀行大會縣

について耐々説明

會の幕を閉ぢたが、なは参照國の金融鉄制に重大意識を終

談が成つた。

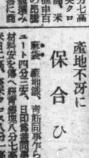
は職战の有卦に

潮温商社のマ

2

四十三

○神戸屋









日本自轉車製作業

奉天に續々組立工場設立

李爷

關東軍と當事者等

は北線及び奉天脈的局管内は昨年 は北線及び奉天脈的局管内は昨年

國線の運賃改正を協議

改正期の促進期待さ

大豆暴落

なき意見の交換を行ふ部である。 なき意見の交換を行ふ部である。 なき意見の交換を行ふ部である。 からあいたり一形 がいるものと期待されたり一形 がいるものと期待されたり一形

發送貨物微增

人船驛の五月中成

に比し六百二十一職、三%の増加

の公司なのだ。

能表 第一年 は全く苦 靴の月日

日の職時職動に於て決定した。 といよ事になつた、之か三月十六 けの十二萬五千回に滅資し、新に

かく 下げられる、外に挑響サーフたのは皆能との架響野影物とでドラ つたのは皆能との架響野彩物盛い

計一萬四千百二十五歳で前年同月 「十七百六十年、一般保護二十六百 戦無は 職、郷、黄花魚、鰕の滅 八十五職、社内貨物、百八十歳、 ゆ、著。しく、その 八十五職、社内貨物、百八十歳、 ゆ、著。しく、その ブル及び 野酸樹が増

バス付四圓五十銭、五 二圓、三圓、三圓五十錢、

電話

三三一町圏公西市連大 (東又文集電前門正園公央中) 番 九 4 7 9・二電

若狹屋飯店

躍活の屋質

買持筋の投げ 大豆また暴落す 豆粕、高粱も落潮

(四)

平野、破、蛟」

田中理財司長、山成中銀副

普銀大會終る

總裁から指示事項を説明

用

を漏占せんとす

0

| 「本天電話」 昭和製剤所の観測一

· · · · · · · · · · ·

戦製品成約す

北郎代債支援機関引無対シの職に左の加く機関出されてゐたが、この種代川機関出されてゐたが、この種代川機関と通商部との職に左の如く機関

北滿の土建材 上の漢州側に多大の将来を期待された。未だ正式に表現の提出

先安を豫想さる

荷動は既に夏枯 滿鐵中旬の出貨機

内監修は批用品の機械に五千百八四監修は批用品の機械に五千百八四監修は批用品の機械に五千百八四監修は計用品の機械に五千百八四監修は対している。

れてゐる即船

祭冠は躍る

同回神戸日

新京空の護り

木には實に一千名を突破すると

童の教育上に遺憾なからし

B

今年は豊年か

吉林の釣魚

ふえた江岸の太公望

州低

【吉林】吉林日本小學校の學童數

四十餘名

において更に十五萬餘圓を投じ曹 | 検賞局において着々範備中であるで家建一教室を新築する外明年度 | 機模場を新築するとに決定員下擧門家建一教室を新築する外明年度 | 機模場を新築するとに決定員下擧において聞定養算五萬四千圓を紋 通教室四、特別教室四、及び二百において聞定養算五萬四千圓を紋 通教室四、特別教室四、及び二百

この懲戒能

とを物識つてゐるやうだ、なほこて南瀬方館からの出縁者が多いこ

慰安列車に抗議

商品價格の統制を亂すご

チチハル商店組合

も僅かに時の問題である、之を男

超える人口を抱擁するの

とてるた全市民は十一日切つた火益々堅きを加へ猛の完備に腕を撫

酬に猛然起ち烈々たる闘志

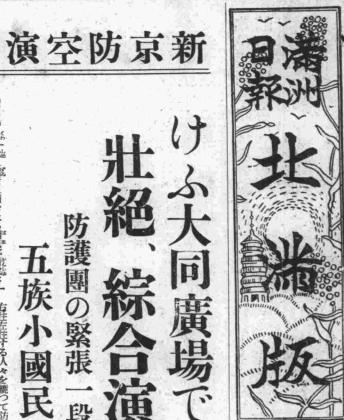
台演習家一日とて非常な緊張味を一個習を終へたが、けふ十二日は綜別であれています。一日とて非常な緊張を

吉林の兒童増加に

小學校を増築

明年度中に二十

教室



同廣場で

防護團の緊張 五族小國民 段ミ高潮

てあるが軍司令官の臨席を仰ぎ 関都建設局を中心として炎々た 関都建設局を中心として炎々た 関都建設局を中心として炎々た 関都建設局を中心として炎々た マイクロフオンの前に立つて防空 演習に對する所感を放送すること である 街から西公園一帶にかけて煙幕型、敦護班、工作班等各班が目 # 電影響高局では漁業法の養布を依置影響高局では漁業法の養布を依置影響高局では漁業法の養布を依置を表して居る始末で

一示し隨所に満々たる朝氣が看取さ一

- 前十時から大同廣場で

の活動に報ゆる所があつた 州人會を歌練書等をなし銃後國防婦人會に就いての認識、

ゆ分遺除服部部隊は一道河子(取 匪賊團を殲滅

特に傷病兵の忠武、忠武忠の贈呈、螺嫌中なるの情報を得直に該地の今日早くも茂多の弥談を挙げて「大梨戲河(取栗河西南八キロ)に以來の紅真の活動は削朮未だ半蔵、兩江好、國東の合流運約五十名が以來の紅真の活動は削朮未だ半蔵、兩江好、國東の合流運約五十名が以來の紅真の活動は削朮未だ半蔵、兩江好、國東の合流運約五十名が はで慇懃の意を

時取集がに流滅したが此の戦闘に、其の他多数を関後間の後駆を西方に駆逐し同午後二、小銃四、彈八六五

鐵嶺の射撃大會

参加者二百名を

低能率對策の

金省長披露 宴『チチハ

格において野繁によいる野働者は鑑いたはこれ等の歌において最も優秀ないによいて最も優秀ないによいて最も優秀ないによいて最も優秀ない。

日滿强化聯盟

てゐるが、チチ 代、食料品の脈で、食料品の脈で ルには七日午後

古際従業員、家

羅津土建協會・邑當局に對し

免税方を交渉

せん

々夫

0

課稅

を北上の豫定である 一分酸、雞北線 庭職となり荒脱が交化は宅地とな は新人の大集職一市館として畑が は新人の大集職一市館として畑が 高率となるを以つてこれが默策に

車歩兵大尉山本三四郎氏は今回瓦

(哈爾濱)電話二二〇七番

露人漁船 羅津に避難

七〇八四

海州沿岸を襲つた影の日の夜生

扬

的情誼に依り特製のが、黒バン常食の彼 一般等源夫は國際ででは、一般等源夫は國際では、一般等源夫は國際では、一般に対している。 洲溢 :高級清酒:

五月乘降客の

日繭兩文の約三十頁に亘る小総誌する事となつた、價格は三十銭で

なり目下準備に多忙を極めてゐる 曜を期して盛大に撃行される事と いるなが感々十六日の第三日 佐野機務段長の死去によって延期北安總局關係の春季大運動會は、 北安の運動會『北安』

七分着第一九列車にて着任 店本 1 1 吟颜窗 四平街 支店

山本大尉着任 四國瓦房店守備隊長 [五]

産科婦人科 医学符士 沖津 豆 沖津医R完 日本橋通二○ (伊煦商店集) ●電話五六八六番 ●

を煽つてゐるが、十三日營口座に



融代小聚物の音楽大運動館は

種業

船道機動

用用用車

◆三日午前十時頃 職門 憲兵分除 ・大力で保険が之を凝見所封した ・大力で保険が之を凝見所封した ・大力で保険が之を凝見所封した ・大力で保険が之を凝見所封した ・大力で保険が立を凝見所封した ・大力で保険が立を凝見所封した ・大力では値少ながら ・大力には値少ながら ・大力にも氏名もで ・大声年の行為に対したところに対した。 ・大声年の行為に対したところに対した。 ・大声年の行為に対した。 ・大声を表見が対した。 ・大声を表した。 ・大声 に悪まれ非常な盛會であつた

◇圖們雜信◇

銃後の活動に

在吉部隊の威謝

國防婦人會員を招待

は約四百圓であると は約四百圓であると は約四百圓であると 順方法に依つて愛行されることと

●
画門領私隊の五月中における

ニーモの夏

炎熱の夏重苦しい厚手のモーニングは恐 の禮服地が豊富に入荷致して居ります するカシミヤ地清爽な白チョッキ地等夏 らく見た目にも玉汗の感が致します あだかも軽羅をふわりこまごつた威じの

又

國防婦人會に客職する事となり五 なりと各方配より窓勘されてるる 樂まつたお金の一部を相談の結果 和無子の観情こそ愛國際戦の影響 アブを貯金しませうと昏魎しその 以て寄贈した、この溢るゝわが大 マブを貯金して値か詰りの女総のチー十個をマダム以下女総一同の名を

一株の料学「常磐」の実成連及

武道獎勵大會

◇…本溪湖小學

十日の如き何處の実服屋さんにも を丁上線前駅日公使出迎への長 を野用に及んでひとり凉しげなところを見せてるたがつどうで なところを見せてるたがつどうで

電話り来る十五日から全市にわた に入つたので、職職電燈廠では例。 に入つたので、職職電燈廠では例。

英の成職左の如し

聯合大賣出

んな大きなカン 〈 帽が新京にあるなんて不思議ですよ」 因に長陽さんの職は相當デッカイ さんの職は相當デッカイ でを散しているは、新京戦で

何卒御用命の程を

五子画の蔵、去る七日

も野魚に適して居るやうだが特に た吉林松松はの野魚は本月初旬よった吉林松松はの野魚は本月初旬よった。 ・サリ増えて來た、松花は何處で ・サリ増えて來た、松花は何處で ・サリ増えて來た、松花は何處で 鮮満人の漁業機問

古秋的形は大きな雑魚多く一年中 が相當ありて何れも可成りの吹人 を暴げて居るから東南の釣魚地帯 るので断点には又と得難いチャンは特に後や荷物船の往来が少くな

女性が過少 龍鎮縣の人口

北上して七日午後三時五十分チチ車を巡廻し、その一班は平齊線を るが、チチハル商店組合では右慰 車の上、齊北線を北上の豫定で

卵車架込飾人に難しては容喩せぬ 野警局では難なる参考に止め、同 といふにあり、右陳幡に残した鑑 『チチハル』鑑路網局の慰安列車 總局慰安列車

▲栗車 一等二九、二等六二〇、 一等二十九二、合計一二四四

ハル瞬が呑吐

等九八七一、合計一○七三七人 勇士の慰靈祭

の影響祭は九日午後二時より同部 の影響祭は九日午後二時より同部

後八時都兜車で総州に對着した 地下の英濃を慰めたが 地下の英濃を慰めたが

、國家のため、献金

お祝儀を

吉林に美妓連の美

書問送電

子婦

供人

服。店

(V)

町、各會社のチームの對抗試 (編建) 維律の整球熱は急速 経達となり春秋のシーズンに が開盟

各病院眼科指定

田川児科医院

丁里(新京神社南横

阿曽のメガネ部 藝夕材 丸岡糸店 2 5629

辺速 ファー 「新京西沢薬房 配達 ファー 「新京西沢薬房 滿洲 販賣部支所 日報 支局

新聞擴張 具招聘 新聞擴張 具招聘 年齢を問はず身體壯健にして市内の狀況に 等す(數名) 吟音賞工廳園五九

ルーマネント底 ・・・・最高級加震物 ルーマネント底 (一) 八九番 高級湖礦物 張 物 E

カアーバイル

社會式株油石善丸 店理代總滿北 公 東 支 司 亞 番八四八三長影電 四六街效計濱

眼镜專門店 清 R 堂

A

方が明であつて生死が明の時はらなければなりません。割ち行らなければなりません。割ち行

父上 は行方不明とありま

婦人のみに限らぬ

三つの子供にもある

日

出来る智、ヒステリーと家庭型製とは密接な職僚のあるこ

人があります。我が懸なら慣みと修養で成程度まで概念が

人も考へなければなりません。ヒステリーの正體を管験的 とで、修養から懲分でも世の波瀾が少くなるとすればご婚

立立場から何つてみます。

主、長女、女女とを 戸主の行方が してゐないのです 判らな 民女が紀入り 配合など非常に跳く困つてをりまりまして男の一不明となり、入難しないと動乱の 婚家に入籍ができずに 困つてをります

失踪宣告の手續

大となるわけですから、元来ならその人の父上から家骸側が大松、つまり膨脱の骸骸 の赤松、つまり膨脱の骸骸

野にするなどはよくない

その申職をしてから判決が下が手つとり早くているでせる

(日曜水) め、現代人は多かれ少なかれ融密したの刺戦を甦へて休息をさせぬた す。現代交化は人間に配 言

として自分の影響を、あらゆとは丁度山のカーヴのやうな線をな終として自分の影響を、あらゆとは丁度山のカーヴのやうな線をな終として自分の影響を、あらゆとは丁度山のカーヴのやうな線をな終として自分の影響を、あらゆとは丁度山のカーヴのやうな線をな終として自分の影響を、あらゆとは丁度山のカーヴのやうな線をないとしている。 秋連體的 西岸真玄氏談 とは事態です。ヒステリーといふ は成態なことです。たい戦響義職 辿ってゐるので、何處から何處ま

整枝法は マトや茄子の 如何に摘みとるか?

三文仕立としそれ以下から出る校は海みとります。肥料は油料難をは海みとります。肥料は油料難を映べると際が載かになり、又外皮製へると際が載かになり、又外皮

水に浸けて軟

は胃臓をこわされ一頭痛藥

トマトやボ子をご自分で何つてる「らつしゃる方も混縦などにはかな 就へて受れましたが本書でせらか一女より) たっなければどうにもならないと 難になり たっなければどうにもならないと一瞬になりますか。(市内・機める一間も行方で明になつてから四ヶ月一戸主の取を行つて入難すると何か

死で明なら、失院取告の手腕が 田菜るといふわけです。師ら右 に遠べた所に従つて、戸玉の殿 慢に住んでるた土地の監禁戦所 にその申載をいたします。これ を失踪宣告の申立てと聴します が、何より線をするとれるのといる。 が、何より線をいたします。 とれ

パナ、・ゼリー

П

江

脚線美 それは精巧な出來榮之の「SHOWA」絹 靴下のお召しに十つてのみ得られます 色=ベーデクレヤ サンプラヴン プフタースーン 7 9 7 7 ピスケプラウン 山川崎東華 人人 日 伊 日 洋 日 洋 日 年 日 洋 ガンメタル 等人大 服服品貨洋 时=8时…9%时 價=¥ 1.40 ¥ 1.70 ¥ 2.30



ヒステリ 醫者としての立場から から? は

プレステリーは領ままからりと申し我が儘の一つだとする その「正體」を打診

のではありません。男にも、子供 上だけ暇かになつたりする。でもますがこれは婦人に融つたも たり、狂獣になつたり、実際にとステリーが避るので、ヒス いる既然で、その他配案、壁脈にとステリーが避るので、ヒス いる既然で、その他配案、壁があつて、婦人の子宮疾患からも いかと怖れ始めると心臓が止があつて、婦人の子宮疾患からも

等へ得べきあらゆる解素に酸を取ってせら。その微微としては 脱そっての としては 脱そ くなつて來る。心臓が止りはしなしないかと思つてゐると釈して搬

ーは押へることが出來ません。 火事でも融らんかなあ」といふあ 2

・ 或程度まで出来ることです。同時にそれ以前にこの際戦闘を起させ りまずから、教育、敬識、といる事があいますから、関し女でも教養のある人 どによつて、これを抑へることは れを除去する事を考へなければなる起因をそれぞれ録つて、先つそ

を出せとをY学塾に立てて二本の を出た場き、その所扱から出する がおはみな情み取り主提から出か り来覧を取ります。一房に来調が り来覧を取ります。一房に来調が

酸分と加里分に富むものを果へまで雨の時は支柱を異へ、木立性の 豆類はその性質により受

果京から満洲迄

霞

の芽はぐる」社みれば白き機のまじり咲きるる

出る前に照白が茅楠の頂に止まり鳴きるる

△墨年研究教授(朝日・四ノ四)

△墨年研究教授(朝日・四ノ四)

△墨年研究教授(朝日・四ノ四)

△墨年研究教授(朝日・四ノ四) 凉しい

おや

常にまじりすいしろの花の白さが特に限につい 山は若楽して連れ機の花咲きるたり

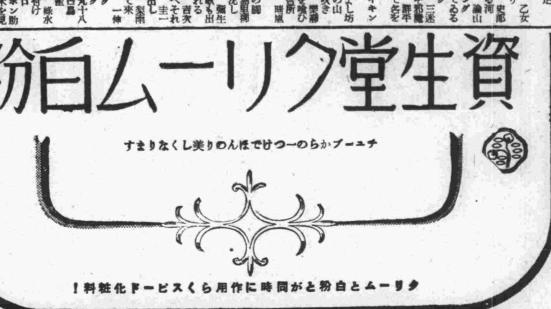
るるなり影響者楽を吹ける風に書のあるとした村々は紗能影響の繋びらめく

TITLI SAS ごこの御家庭で カゴメ ケチャ ッブ 喜ばれ

> 舗本スーソメゴカ 社會式株造製トマト知愛

DS.









砂糖(少々)マヨネーズソース ぜ合せて入れ、が分 数字 半本を水に硬し、人器、ジャ らお眼にサラド架を れた水で形のくづれり程度に遊で かけてするめる。 の が設立に着く遊でムおいて大配 ん衆) 一杯位、それに部瓜は一本を小口 から輝く切り賑少しふつておく。 跳ははく前で一分位の輪切りにす る。慰天の水氣を続りスープスト

この行為は意識しながらも無意識で、 さんな手数をとつてでもはしく、 だんな手数をとつてでもはしく、

技法で一番花の直ぐ下から出た機 感の時にする方法で、主枝一本を 場の時にする方法で、主枝一本を

結核絶滅の急務

ばお金が欲し

トマ

・ 自分の他してみることを選定した

時は趣味を根元に撒いてやります。根元が為り過ぎると離柘層にかかりますから、そのと離柘層にかかりますから、そのと

見ご聞示的に起して來る

どより鑑かに電用的に激ひなを使つた警察な自動が見な り使つてあるんです。なるべい。々ところが、聴いのばか らしいものなんですがねえる 聴いのばか

T

玩具作戰

ゼンマイの話

難り言をいつてゐる事、お答 跳いのを使ふんです。膨れ を響す、とにかく自分の続したことがするのも、その男が自分の他のとう になった概りなので、後からどう になった概りなので、後からどう

市内の製店成員仕入部の×氏 市内の製店成員仕入部の×氏

ンマイを調べながらクゼンマ

を使へば保ちはいゝし、薬噌イも時訛のやうに上等のもの

ルギス・タ

の中倫貝爾地方に止まら 以東大とへば哈 以東大とへば哈 のイキング、スタイルだけは物々 が、歌古塔、間島、否北 のイキング、スタイルだけは物々 のイキング、スタイルだけは物々 のイキング、スタイルだけは物々 題であつて、

B

に見られる女連れ に見られる女連れ に見られる女連れ

健園を誇るハイキング岩へ乗り ・選者 吟 ・選者 吟

れとの交配極を得れば可いわけ

たーケ所と いっかの

海拉爾へハイラル

への希望

有限のマダムも背質つてハイキンハイキング・コースになつて名を

ハイキング天 公安

日

植物ホルモン その醫治的作用に就て 對する考察

長なる事像は、それだけ急速なる細胞の増殖を深げたる結果である故に、筍は、その親竹の根が、きはめて著しい吸収を營まねばならぬ。解説するまでもなく、あらゆる植物は、その成長にあたりて、土壤中の、多くの物質を毛根より吸ひ上げて自らを形成する。 関語って、伸長度の脚しき植物はど、吸收率が多くなくてはならぬわけである。そこで、余は、次の如く想定する。 即ちを形成する。 どる植物に於いて想象すれば、伸きばかりの急速なる伸長をつかさころは、雨後の筍の如き、恐ろし

胃膓疾患、

特に消

の本態はつくされないのである。 細胞の形成も消化管の機能も、 細胞の形成も消化管の機能も、 ては、特にカルシューのである。たとへば、姙児

止に區別されんことを希ひたい。 い鳴暢入りの貮熊で賣る繋舫の飄とは蹴れられたいから、この點、世間に多意であつても、誇大や出籃目は一行なり

の文字

を繋かされても、ちよつと信じられない人にとりては、ネオネオギーを試みたことがない人 とへ本文の如く、廣告の形式に據る文 まだ一度

めである。

我研究所はない、土の所論を携巻記載したる故、上記論交の主義は治病報園の四学以外にはない、土の所論を携巻記載したる故、上記論交は、上機に、研究所置撃部長三井志造博は、上機に、研究所置撃部長三井志造博 でくことを能しない。 電効である。理論は第二である。 が、しかし一般大衆は離解な繁理などをギーの繁理の詳細を載さたいのである

萬人必讀 其他老衰早老防止化不良、食慾不振 権物ホルモン薬の完成は、研究所にとりの検験者一人でも多くを致ひたき怠離から、これが普及に心臓を確いてゐるので、世のある。

獨逸に向ったが、主に植物ホルモンに馴ら 長が過数官命に依り歐米へ視察を命ぜら して、彼の國の研究振りを観察せんがた 現在帝大教授の重職にある研究所の所

を元質せしめ、また、結核菌のみならず

その場できでなく、徹底的感化をこれである。 瘦せたる

三井 病體衰體をつくりなほ 健體をのぞむ人の一讀を希ふ

患、 榮養障碍に據る疾 代表的適應症 特に結核諸症

後すぐに解るのは食欲が急激に増進す とも思はれぞうが、實際はけつして矛盾に依り権勢ホルモンの比較を窺はれたい は那て肉付を引緊め、脂離腎肥りの理想

でも何でもない。

にりっちゃセン分的の異常であるが、 他りすぎも痩せ過ぎる、 原因は何れる でものが、 を何でもない。

たいはれる総数にあつてさへ、選に鑑重が増 はれる総数にあつてさへ、選に鑑重が増 してはく現象も、みな楽養が急重する結果である。 も大部分が心肉に同化されるため、真のこれは食物の消化が完全に行はれ、しかいのでは、無便の量がグンと減少するが、 ではん重要な、小鵬の継毛といる部分が、ばん重要な、小鵬の継毛といる部分が、ばん重要な、小鵬の継毛といる部分が、またの作用によつて刺戯され、鄙恥した緊急をドッノ) 内部に送り込むからである けれども

で 達加が全部の目的ではないことである。 ・ 常加が全部の目的ではないことである。 ・ 本オネオギーは、海化管の袋鼠や艦車の ・ 本オネオギーは、海化管の袋鼠や艦車の ・ 本オネオギーは、海化管の袋鼠や艦車の ・ 本オネオギーの反際はすど 服用者が心にかけられたいことは、前 水艦館にも若さを取戻した電像が楽山に 電際に七十八十の老齢者が、襟織館にも 電影に七十八十の老齢者が、襟織館にも で、総合ホルモン難とも確すべきネオ 報告されてるるが、注射薬よりも造に安

れて識者に推奨されてゐるのは尤もなこれで識者に推奨されてゐるのは尤もなこ 購入の注意

一上[1] 三百六十個八一月童金一九個の二種、粉末能型あり。コドモネオギーは四百五十個八金一圓五十錢。全國奏店にて販賣す。但し他品と違い知價高き品故、品切れとする美店又は他美を動める店もあるべし、注意を乞

1日上文 制製元より送業希望の向 東京市小石川區開口町一一八日本微生 東京市小石川區開口町一一八日本微生 東京市小石川區開口町一一八日本微生 東京市小石川區開口町一一八日本微生

者にあつては肥りだすが、脂肪ぶとり

虚弱見はコドモネオギーで救はる



わづか二瓶で こんなに丈夫に

第一 回第二回と服用搬けさせ居り候處 大便も一日一回主義を爬けて最早一ヶ月以上に程成り、日中も喜び他の子供達と共々に避び、変もよく眠り、誠に親としての小生も悪び居り候。 此の骸懸に凝すべく滅意を以て益々慳騰 とれのをしてかり、誠に親としての小生も悪び居り候。 京都市堀川 (父)木村一郎

新中の急務と依じ候。 急務中の急務と依じ候。 をめては観察なる姿でも見て概きたい怠譲から、本日寫真をとり御送付数すたい怠譲から、本日寫真をとり御送付数す

【註】 胃腸の弱い兄、元気のない兄、肥れぬ兄、又一層丈夫にするためには、 を加へたコドモネオギーを試されよ。 を加へたコドモネオギーを試されよ。

NNIP-80

4

全日滿一齊に擧行

母への脱謝、世性の自覺をスロー る講演を放送、各學校では母の像

場頭長、熊津副長、高山戦府主任場頭長、熊津副長、高山戦府主任

來る廿五日 職定してゐるが、一行に先立ちそ職一座六十名の來講は既報の如く

ンチ沈没す

満鐵ラ

支那船の着留作業中 スクリューに横腹を切られ

まづ同地方よりの入帯脱版に對し 會配の橋木奥一氏十一日入産の続け選到策を講ずることになつた、 の打合せの用務を帯びて松竹製行機 警備主任會議

敵味方人

八亂れて

空中に壯烈な戦闘

新京防空演習第一

野政視察團の

の打合せに人際

日本各地の郵政視察のため去

ででである。 での脱々たる砲撃は耳を襲するば になっている。

午後の戦闘

労敵機三 繁化器、数に彼我秘策を 脱炉、先づ味方の飛行機上空を凝 脱炉、先づ味方の飛行機上空を凝 原しつ 1 素離すれば同一時四十五 原との一条離すれば同一時四十五

-|二日の初總會

木曾有の混亂?

三日 腹寒一部の東京腹を員は、去る九 なつたといふ本紙の記事を見て歌歌。丁せしめんと企圖してゐるが鬱帝。が見るに見かねて保護すること歌呼、の財団に全力を社ぎ總會を無事終。の病夫を抱へた廃れな母を大連

利帝展の前途悲觀さる

御本一瓶用德紙包青の中出売下目 呈進枚一券場入舘画映 :: 方の上買

K-Jレアビムロコ

Columbia

心血を注いだ豪華盤 近來益々圓熟の

音丸が

流行歌

船頭可愛いや

音

沖のかもめ

是非此の一枚は御買求め下さい

南京)以下略杭州、閘口)(3)京滬線 本社見學 一个(1)前同滬杭甬線

(日二十) 風の西南 曇々時晴

樯臬亡

大會の招待試合に出場した南原の指標に際じ全朝鮮地

道工場

大連看機的 大連看機力が ・Y・ 原設病らし

鹿児島航

一人所んだものだ。

ルコニ侯を名譽會長と子 *********

美爪料ラ・ルーナの試品デ
別十二日より十四日まで三日間

使山大觀、竹內栖鳳

榮養不良から

れだ日本風呂

遊興御案内を口實に

外國船員の金を盗む

君を阅速町の料亭流月に連れ込み

奇病續發

安東省農村慘狀

兩畵伯の對立から

門暦と連絡を採つて、海上でも登城。よりも、戦ろ各陸上の戦後、戦りい経暦に絶野の信頼 安全且つ容易に治療の方法が探

せて御越下さいます機御案内申上ます。
問いたしまして側爪鷹の資演と御波明を致しますからどうぞ皆機御誘ひ合問いたしまして側爪鷹の資演と御波明を致しますからどうぞ皆機御誘ひ合助度横濱のラ・ルーナ、ラボラトリオより知道に造語深い上野網子驟を招

大◆

させた上今度は

となり日本人の名

たの干赦死などは差

何物かを感得したのは質にある。郵政方面よりこの無

、臺灣を脅か

たに設立された大連健康際盟で 來る廿三日から

連絡どつて

匪賊を掃

討

計り匪賊の構討、治安維持の徹底の治安維持會を開催、密接な連絡を 旧安維持會は始めての事 ▽場所 第一回戦は流蔵コートに ・ ○ は自 シングルス、ダブルス ・ 文種目 シングルス、ダブルス ▽参加料 シングルス、ダブルス 一院に入つた

聯合治安維持會

球選手權大會

大會を開催すること」なつた

の部隊の銀河兵四十七名は十一日 の部隊の銀河兵四十七名は十一日 大曹・変國州人監督での他の盛大 大曹・変國州人監督での他の盛大 大曹・変國州人監督での他の盛大

部隊傷病兵 奉天衞戍病院へ

齊々哈爾〇〇

三并物產內保田氏(電

◆十二日より二十日まで

********************************* 香蘭社績

於三階 +3 大争

世になっていることでは、これのでは、 ************

新品が叉豊富に入りました

同地この航路

の戦死體がそのまゝ放置

では同地との統

ツーリスト・ビユーローで

近く

實施する豫定

中であったが、具態深が出来上つたので、近く戦略することへなった。近く戦略することへなった。近く戦略することへなった。近後には、大連、行力を機を機を対方は、具態深が出来上った。大連、任動の方法により一般に対方するとの事であり、主要案内には、近世の大連、任動のは主要地名)へ1) 安、扶蘇、前郭族)(2)總局平齊線(通遼)(4)同京大線(農)縣(通遼)(4)同京大線(農)公主總、新京)(3)同大線(農)

|安東(1) | 満臟安奉線(安東、 一級芬刊)以下略

(大連、周水子、

一、室料 宝

張家口、大同、包頭)(3)平漢線(北平)(2)同平級線(宜化線(北平)(2)同平級線(宜化

鄉漢

七月新譜愈々發賣!!

夷難、ガス弾を

星ケ浦ヤマ

期間皇八月下旬

F

金三圓以上 至 至 至 ホテル

九月中旬 滿洲土産福

すから精々御利用下さいます樣御願旁々御けから精々御利用下さいます樣御願旁々師也まり八月下旬迄全部御豫約濟みごなりましたが左の期間中は特に一般の御需に應じますから精々御引立に依り各室共七月上旬年顧客各位の御引立に依り各室共七月上旬年顧客をはの御引がでは、大月十一日)

盆燈籠大販売 團扇扇子 大連浪速町通イワキ町見付 由入特二大勉強急造 電話本四五八七四

|| 藤井如帝店 白檀扇製造販売

虫除納涼提灯

廉佛 売機 所具

旅客案内の 聯絡統制改善

陶

依弦

器展覽

皮膚梅毒

から大浦の追及が識しくつと

人々のやうに、小梅は好意

小梅が駕籠を二挺頼んで來たの

いたはりにらび音を書れてか

が立つのであった

が、小幅の嫌ひ方

日

術

電配器だつたそうだ。その話にひ この前来た仮理の水兵運は、相 認の花をまきたくなるのだ。

と押つかぶせて、

もその響では…」

て妾の云ひなりになつて下さいな

かへて、いうちゃん軍船の乗組

と微笑つてみせた。

そん電船の水兵に、

「何ですねえ、そんな質の弱いことをながけするのは……」

海のやうに青い瞳は、胸のふさが

船源一家と大浦一家のいきさつは

目見たいけでも

れ込む、紅毬の水兵

(+)

しら町の人々に、不吉めいた黎殿に、屋のやうに煌めく灯は、何かに、屋のやうに煌めく灯は、何か

淡尿器科 皮属梅毒 専門 レンドゲン科 入院室完備

大連若狹町三(西通入口)

電ニ・セセセ六

医学博士

軍手軍足卸賣

電二·六五六五 掛

入院隨時

肺門淋巴腺炎及费高不良 呼吸器及消化器慢性病 腎肺機尖

血壓及開展及

婦人內科

小学校前

X 線 完 備

電山 三洋_信 四**行**町

皿ミ肉になる葡萄酒 一朝夕の

船はの汽車は酒のよりノーシンありをそん配なした

*

急性淋の辛いのは疼痛と膿出と炎症であるこの症状にAトリートを用ふる時は痛みは忽ち止る、這はカワカワハルツの局所麻痺的鎮靜作用と尿道内に於ける淋菌の發育を遮断するに據る、理すのであるから治療や手當を打捨てる場合が多い。こゝに因をとればなられる。いかに苦痛が薄いとて膿が出たり淋系のあるのは淋菌が棲息してゐる證據であるから服薬を直ちに實行して根本的に淋菌を掃滅せればなられ。 本的に淋菌を掃滅せればなられ。 本的に淋菌を掃滅せればなられ。 本的に淋菌を掃滅せればなられ。 本的に淋菌を掃滅せればなられ。 本的に淋菌を掃滅せればなられ。 本的に淋菌を掃滅せればなられ。 本がに淋菌を掃滅せればなられ。 本がに淋菌を掃滅せればなられ。 を加賀に體得せらる。ことを確言する。 を加賀に體得せらる。ことを確言する。 を加賀に體得せらる。ことを確言する。 を加賀に體得せらる。ことを確言する。 を加賀に體得せらる。ことを確言する。 婦人病と 近來婦人病が漸増の傾向にあり、患者は概れ通常の婦人病さして治療に 専念するがどうも「はかんくしくない」さの嘆撃はよく耳にする所である。この体々良果の現れない婦人病 にAトリートを用ひたらごんな結果 にAトリートを用ひたらごんな結果 で来すか、必ず滞紙を「はぐ」やう に快方に赴く方が随分あるこさ、確 信する。淋毒性の症狀を普通の婦人 病さ誤認して筋違ひの治療法では幾

果效治醫

年経でも効果のないのは之れ當然である。 構入病の原因を判然さ患者に報告すれば家庭の平和を削すこさが往々に あるから先づ安全第一の婦人病ごい あるから先づ安全第一の婦人病ごい な美名を冠して淋毒に對する手當を する場合が頗る多い。聰明なる御婦 大よ勇敢にAトリートを召されよ。

部張擴洲滿

Ξ 日量(十八球人) 價

を完め が電正〇

るたれ優

各薬店に販賣す

元賣發トーリトA 所藥製堂大盛 番〇〇五二阪大替振 • 島堂市阪大

(角局藥安平) り通安平天奉

◆五日量(九十球入) 七日量(四十二球人)

杯は百藥に優